

HOSEI

Communication Magazine

1.2
2022

市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスで大学祭を開催

市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスで大学祭が開催されました。
3キャンパスともに事前予約制にて人数制限を行い、万全な感染症対策の上、対面で開催されました。
学生団体や実行委員がユニークな企画を展開し、それぞれの会場では笑顔あふれる学生や来場者の姿が見られました。

【市ヶ谷】10月28日(木)~31日(日)

74回目の開催となる市ヶ谷キャンパスのテーマは「青春を、取り戻せ。」このテーマには「2020年の大学祭が本来の形で実施できず、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思い描いていた学生生活を送っていない学生に、大学祭という思い出を味わってもらいたい」という意味が込められています。4日間とも、各団体の思いの企画でにぎわっていました。



1 外濠校舎の入り口を彩り、来場者を迎えた階段アート
2 検温や予約の確認など、万全な感染症対策が施された
3 2021年1月末に竣工した中央広場の広々とした空間には屋台が並ぶ
4 茶道研究会によるお点前のパフォーマンス
5 富士見ゲート学生ホールでサプライズ演出を披露するフラッシュモブサークル
6 ごみの分別をするボランティアサークル「キャンパス・エコロジー・フォーラム」。多くの学生が大学祭を裏方としても支えている

【多摩】10月16日(土)・17日(日)

昨年はオンライン開催だったため、地域の方々や老若男女が楽しめる場所としての多摩祭をもう一度取り戻したいという意味が込められた74回目のテーマは「ただいま、多摩、今。」子どもたちにも大人気の「どうぶつえん企画」や花火を打ち上げる「多摩ナイト企画」など、さまざまな企画が実施され、幅広い年齢層の方々を楽しんでいました。



1 感染症対策のため、事前予約制を導入。正門前でしっかりと予約の確認
2 「どうぶつえん企画」は地域の子もたちに大人気。ウサギ、カメ、ヤギなど多くの動物と触れ合うことができる
3 「法大グランプリカラオケ大会」で熱唱する学生。来場者も真剣に歌声に聴き入る
4 「緑日企画」では射的やバタールゴルフなどに多くの地域の方々も参加
5 YOSAKOIソーランサークル「鳳遙恋」による華やかな舞踊
6 多摩祭の締めくくりには花火が打ち上げられた

【小金井】10月28日(木)~30日(土)

「vivid」をテーマに69回目を迎えた小金井キャンパスの大学祭。企画実行委員会が開発した来場者管理システム「MINERVA」を使用し、感染症対策も万全に行いながら開催しました。期間中は天気にも恵まれ、来場者は屋台や理系キャンパスらしい研究室紹介などさまざまな企画を楽しみました。



1 小金井キャンパス正門で「MINERVA」への登録をする来場者たち
2 たくさんの屋台が並ぶ中庭。晴天に恵まれ、青空が広がった
3 練習を公開する「工学部マンドリンクラブ」の美しい演奏
4 毎年少しずつ改良を加え、より精巧なものとなっている「鉄道研究会」のジオラマ
5 応援団のデモンストレーション。応援団の激励で会場内に活気がみなぎる
6 日頃の研究成果を紹介する「研究室紹介」。間近で研究内容を見た来場者たちは、興味津々な眼差しだった

法政大学では、法政大学憲章を体現するような実践事例を募り、「自由を生き抜く実践知大賞」として表彰しています。とりわけ2020年度の「自由を生き抜く実践知大賞」の応募には、コロナ禍においても、人のため、社会のためにできることを主体的に考えて行動する学生の取り組みが多くありました。彼らはどのように考え、どのような行動を起こしたのでしょうか。今回の廣瀬克哉総長と語らう学生座談会では、コロナ禍を乗り越え、自由を生き抜く実践知を体現した取り組みとそれを実施した学生たちを紹介します。

「誰かのため」に主体的に行動する 自由を生き抜く実践知

総長と学生の座談会企画

コロナ禍においても

「誰かのため」に

主体的に行動する

自由を生き抜く実践知

|| 森山 裕平さん ||
スポーツ健康学部
スポーツ健康学科4年

|| 小堀 和人さん ||
情報科学部
コンピュータ科学科4年

|| 前田 美幸さん ||
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科3年

HOSEI 1・2 Contents

communication magazine 2022

02 HOSEI EYE 市ヶ谷・多摩・小金井キャンパスで大学祭を開催

03 総長と学生の座談会企画

コロナ禍においても「誰かのため」に主体的に行動する
～自由を生き抜く実践知～

08 資格・採用試験への挑戦

11 2022年度一般選抜に向けて

12 卒業生インタビュー

「ハードルを最後までやり抜いたからこそ、悔いなく次の目標に進める」
陸上競技110m ハードル選手 ミズノ株式会社所属 金井 大旺さん

14 ESSAY

「地球への負荷をさらに軽減する21世紀農業における病害虫防除」
生命科学部応用植物科学科 教授 津田新哉

16 HOSEI PHRONESIS VOL.41

「谷崎潤一郎や越境文学を題材に言語と文学の在り方を探究」
GIS(グローバル教養学部)グローバル教養学科
准教授 グレゴリー・ケズナジャット

18 MY CAMPUS, MY LIFE

経営学部市場経営学科 近能善範教授ゼミ/和楽器サークル「三曲会」

20 Message 「大学生活を捧げて、一生分の笑顔を見た」

お笑いサークルHOS所属漫才コンビ「リバイアサン」
経済学部国際経済学科4年 佐伯 瞭さん/社会学部メディア社会学科4年 久保寺 竜誠さん

21 THE SCENE VOL.133 フェンシング部

22 後援会だより 「2022年を迎えるに当たって」支部長会議報告 ほか

26 HOSEI ミュージアム VOL.023

「法政大学の歴史と個性を発信する新しい空間」
～ミュージアム・サテライト小金井/市ヶ谷～

27 校友会だより

32 体育会の活躍

33 祝!箱根駅伝本選出場決定!陸上競技部駅伝チーム紹介

34 HOSEI TOPICS

35 BOOKS

裏表紙 付属校短信

COVER 市ヶ谷キャンパス 撮影:平野太呂

55・58年館の跡地に設けられた「メモリアルコリドー」は、58年館1階の床パターンを踏襲した床石のデザインで、柱のあった位置にはコンクリート製のスツールを設置しています。55・58年館の外観デザインを採用した大内山校舎や58年館竣工当時の池の形を再現した大内山庭園を望むことができ、市ヶ谷キャンパスの記憶を継承する場所となっています。

小堀 和人が所属している「CIS R A T」では、情報科学部または情報科学研究科の学生を対象に、大学から貸与されるノートパソコン（以降、貸与パソコン）の設定や技術的なトラブルの相談に乗っています。やはりコロナ禍の影響で対面のサポート対応ができなくなり、オンラインサポートの対応を始めました。メールのやりとりに加えて、ウェブ会議



ツールを使用することで、相手に理解してもらいやすくなりました。総長 本学では理系学部学生の研究活動のためノートパソコンを貸与しています。他の学部は外部サポートが受けやすい標準仕様ですが、情報科学部向けの貸与パソコンは、高度な情報処理ができる特別仕様なので、必然的に学生同士で助け合う活動が始まったのでしょうか。小堀 情報科学部に入学しても、パソコンを自由に扱える学生ばかりではありません。貸与パソコンは授業で使用しますから、新生が一人でも設定を完了できるように、分かりやすい資料や動画の作成にも取り組みました。さらに、トラブル対応には双方向でコミュニケーションが取れた方がいいと、ウェブ会議ツールを取り入れながら準備を進めました。総長 コロナ禍という非常事態だけに、手探りで試行錯誤することが多かったのではないのでしょうか。

前田 私たちの取り組みも、初めてのこ とづくめで、何もかもが手探りの状態でした。初対面で、お互いの人となりを知らない上に、共通言語のない状態で、ジェスチャーを使いながら交流せざるを得ないベアもありました。留学生は17カ国から来ているので、日本語も英語も話せない人もいるからです。でも日本語を学習したいと思っている相手なので、安易に翻訳機などには頼らずに、自分の言葉で伝えよう、平易な日本語を意識して話そうと決めていました。小堀 私たちCIS R A Tは、新しいことへのチャレンジに貪欲で、「とりあえず試してみよう」と考えるトライアンド

前田 国際交流や多文化共生の現状について学ぶ「多文化教育」という授業を2020年度に履修しました。その授業の中で、「日本語教育プログラム」を受講している留学生がコロナ禍で外出できないことから、情報弱者として物理的にも心理的にも孤立して困っているという話を聞いたのです。少しでも手助けしたいと、履修生の中から有志32人が授業とは別でオンラインの学習支援をすることにしました。

森山 そうですね。オープンキャンパスのスタッフは、前年度のオープンキャンパスが終了した後すぐに代替わりをして、次年度の準備を始めます。私がリーダーを務めた2020年度も、2019年の秋から半年以上準備してきて、春には1年生スタッフの加入が期待できると思っていた矢先にコロナ禍になって、活動が止まってしまいました。スタッフの混乱も大きく、諦めてこのまま中止しようという動きもありました。でも、自分たちがやめてしまったら、受験生に情報を届けることができなくなってしまうし、長く続いたオープンキャンパスの伝統も途絶えさせてしまうと思います。活動を継続する決意をしました。ただ、最初から企画を考え直さなければならず、人手も時間も少ない中で頭も体もフル回転させていました。

前田 私たちの取り組みも、初めてのこ とづくめで、何もかもが手探りの状態でした。初対面で、お互いの人となりを知らない上に、共通言語のない状態で、ジェスチャーを使いながら交流せざるを得ないベアもありました。留学生は17カ国から来ているので、日本語も英語も話せない人もいるからです。でも日本語を学習したいと思っている相手なので、安易に翻訳機などには頼らずに、自分の言葉で伝えよう、平易な日本語を意識して話そうと決めていました。小堀 私たちCIS R A Tは、新しいことへのチャレンジに貪欲で、「とりあえず試してみよう」と考えるトライアンド

エラーの文化が醸成されています。その中で、話し合っ て結論を出していくので、オンラインツールの検討も、1回目の緊急事態宣言より前の2020年2月という早い段階に済ませていて、準備はスムーズに進められたと思います。

前田 国際交流や多文化共生の現状について学ぶ「多文化教育」という授業を2020年度に履修しました。その授業の中で、「日本語教育プログラム」を受講している留学生がコロナ禍で外出できないことから、情報弱者として物理的にも心理的にも孤立して困っているという話を聞いたのです。少しでも手助けしたいと、履修生の中から有志32人が授業とは別でオンラインの学習支援をすることにしました。

森山 そうですね。オープンキャンパスのスタッフは、前年度のオープンキャンパスが終了した後すぐに代替わりをして、次年度の準備を始めます。私がリーダーを務めた2020年度も、2019年の秋から半年以上準備してきて、春には1年生スタッフの加入が期待できると思っていた矢先にコロナ禍になって、活動が止まってしまいました。スタッフの混乱も大きく、諦めてこのまま中止しようという動きもありました。でも、自分たちがやめてしまったら、受験生に情報を届けることができなくなってしまうし、長く続いたオープンキャンパスの伝統も途絶えさせてしまうと思います。活動を継続する決意をしました。ただ、最初から企画を考え直さなければならず、人手も時間も少ない中で頭も体もフル回転させていました。

前田 私たちの取り組みも、初めてのこ とづくめで、何もかもが手探りの状態でした。初対面で、お互いの人となりを知らない上に、共通言語のない状態で、ジェスチャーを使いながら交流せざるを得ないベアもありました。留学生は17カ国から来ているので、日本語も英語も話せない人もいるからです。でも日本語を学習したいと思っている相手なので、安易に翻訳機などには頼らずに、自分の言葉で伝えよう、平易な日本語を意識して話そうと決めていました。小堀 私たちCIS R A Tは、新しいことへのチャレンジに貪欲で、「とりあえず試してみよう」と考えるトライアンド

エラーの文化が醸成されています。その中で、話し合っ て結論を出していくので、オンラインツールの検討も、1回目の緊急事態宣言より前の2020年2月という早い段階に済ませていて、準備はスムーズに進められたと思います。



2020年度「自由を生き抜く実践知大賞」に応募した、私たちの取り組み



小堀 和人さん
Kobori Kazuto

情報科学部コンピュータ科学科4年
(CIS R A T 所属)



森山 裕平さん
Moriyama Yuhei

スポーツ健康学部スポーツ健康学科4年
(多摩オープンキャンパススタッフ2020年度代表)



前田 美幸さん
Maeda Miyuki

キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科3年



実践事例名称:
オンラインの利点を活かした
「リアルタイム双方向コミュニケーション」
を重視した各種取り組み

実践主体:
情報科学部

情報科学部では「CIS R A T」と呼ばれる学生有志による団体が、情報科学部や情報科学研究科のコンピューター資源の管理と、学生に対する技術サポートなどを行っています。これまでは対面で相談に応じてきましたが、コロナ禍の影響からオンラインサポートで対応。メールのやりとりに加えて、ウェブ会議ツールを使用し、リアルタイムのコミュニケーションを行うことでより良いサポートを実現しました。

実践事例名称:
多摩ウェブオープンキャンパス
での取り組み

実践主体:
多摩オープンキャンパスリーダーズ

例年、法政大学に興味のある高校生などに向けて、学生主体でオープンキャンパスを企画しています。コロナ禍のため来校して体験するオープンキャンパスの実施はできなくなったものの、オンライン上で情報を発信する、独自の「多摩ウェブオープンキャンパス」を構築。多摩キャンパス内の施設を紹介するツアー動画、学生座談会のライブ配信、オンライン個別相談などの企画を実施し、大学の魅力を広く伝えました。

実践事例名称:
コロナ禍で孤立する留学生の
オンライン学習支援

実践主体:
2020年度「多文化教育」科目履修生の
有志32人

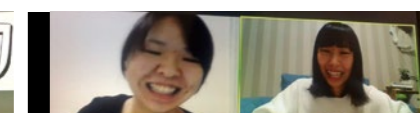
キャリアデザイン学部の「多文化教育」科目では学生有志を募り、授業外で「日本語教育プログラム」を受講している留学生と交流し、学習支援を行っています。これまでは対面で交流していましたが、2020年度は留学生がコロナ禍で来日できなかったり、日本で孤立状態になってしまったりしたため、ウェブ会議ツールを使用して、一人一人に専任でサポートする学生が付き、オンラインで学習支援をしました。



CIS R A Tによって運営されている学内向け情報ポータル



学生座談会「法政トーク」をライブ配信の様子



台湾出身の留学生と交流を楽しむ様子



イラン出身の留学生に就活経験を話す様子



2020年度「自由を生き抜く実践知大賞」エントリー一覧は以下からご覧いただけます。

http://admin.phronesis.hosei.ac.jp/application/files/5016/0670/3723/2020_entry.pdf

※ CIS R A T: 正式名称は Faculty of Computer and Information Sciences-Resource Administration Team、通称「ラット」。

コロナ禍の外出自粛で、
できなくなったことを
補うための試行錯誤

今回は、2020年度「自由を生き抜く実践知大賞」にエントリーされた実践事例から、廣瀬総長が着目した取り組みを主体的に行った皆さんにお集まりいただきました。

総長 「自由を生き抜く実践知大賞」の募集により、コロナ禍という抑制された環境の中でできることを考えて実践した取り組みが数多くあることを知りました。困っている誰かのために創意工夫した学生たちのことを多くの人に知ってもらいたい。そう思ったから、三つのキャンパスから一人ずつお招きしました。それぞれ、ご自身が携わった取り組みを紹介してください。

森山 毎年、夏期休暇中にオープンキャンパスを開催してきましたが、2020年はコロナ禍により、高校生などの来場者に大学構内を見学してもらう形式のオープンキャンパスは実施不可能になりました。そこで、来校せずに参加できるオープンキャンパスの企画を考え直し、学内施設のツアー動画や、学生たちがリアルな体験談を語るトークライブ配信、オンライン個別相談など、オンライン企画で構成された多摩独自のウェブオープンキャンパスをつくり上げました。

苦勞も喜びも
自分の糧になる

予想外に大変だったことはありませんか。それをどのように乗り越えましたか。

前田… 私たちの取り組みは第1世代に当たるので、ノウハウは何もなくて。先ほど小堀さんがおっしゃったように、「とりあえずやってみよう」というトライアンドエラーで、うまくいったこと、失敗したことが実践知になっていったと思います。特に2020年の春学期は、本当に手探り状態だったので、学習支援という名目でしたが、最初はおしゃべりをするくらいしかできませんでした。その後、授業の中に課題として取り入れて、日本文化や大学生活での体験などが伝わるように工夫するなど、交流の目的やスタイ

小堀… 最初は、オンライン経由での教え方に慣れていなかったのですが、てこずることもありました。そのため、CIS R A Tのメンバー同士でも定期的にミーティングを開き、情報を共有するようにして、対策を取っていました。大変だと感じたのは、時間の調整です。CIS R A Tのメンバーにもそれぞれ授業があるので、対応可能な空き時間をオンラインサポートに充てていたのですが、逆に、その時間は授業があるという学生もいます。その人にとっては、トラブルが起きていてもサポートを受けられないことになり。そうした不都合は、当初は想定できなくて、メールで相談されて初めて気づき、どうしたらより多くの人のサポートができるかを考え、学生の全授業と私たちメンバーの空き時間を総合的に鑑みて、スケジュールを決めるように工夫しました。前田… ペアごとに事情は異なりますが、小さなトラブルは数多くありました。時差があるので、お互いに都合のいい時間をすり合わせるのが難しかったり、時間感覚にも

ズレがあるので、約束の時間に始めることができなかったり、ネット環境が悪く話している途中で回線が突然切れてしまうことも。そうしたトラブルと一緒に苦労したことで、親密になれたペアもありました。総長… ネット経由で交流したことが、逆にメリットになったことはありませんか。前田… 画面越しに交流することで、物理的にも心理的にも、適度なソーシャルディスタンスが保てるように感じました。異文化を持つ相手と仲良くなる途中の段階では、直接会って交流する際に、心の距離感を測るのが難しいことがありますが。近づき過ぎて遠慮がなくなり相手を傷つけてしまったり、逆に気疲れしてしまうケースもあります。でも、ネット経由で交流していると、わずかなタイムラグがあり、その分冷静でいることができます。「これ以上は踏み込まない方が良さそうだ」「もう少し違う言い方はできないか」など、自分を省みることができると思います。森山… 一番大変だと感じたのは、準備期間の無さでした。限られた時間で、新しい企画をゼロからつくり上げるには、スタッフの協力は不可欠です。ただ、対面でのオープンキャンパスの中止が決まった時、頑張ってきたことが無くなったと意気消沈した何人かのスタッフは、活動を休止していました。タイミングが悪いことに、新入生からスタッフを勧誘することもできず、人手不足は否めませんでした。そこで、スタッフ一人一人に対し、

きないので、相手が分かるように教えるためには、こちらが十分理解している必要があります。相手を支援しているようで、実は自分のスキルアップのためになつていたのだと実感しています。通常や常識という枠組みから解放された自由の中で生まれる実践知最後に、皆さんにとっての「自由を生き抜く実践知」とは、どのようなものなのかをお聞かせください。小堀… 私にとつての「自由を生き抜く実践知」を実現する方法は、「より良くするための課題を見つけ、どうすれば解決できるか考える、とりあえずやってみる」というサイクルではないかと思っています。今後も追いつけていきたいです。森山… 一人ではできないことも、仲間と協力すればやり遂げられると自信になりました。自分を信じて、行動を続けられるように、これからも自分なりの実践知をつくり上げたいと思っています。前田… 「自由を生き抜く実践知大賞」への応募をきっかけに、「自由」とは何かを考え続けています。まだ明確な答えは出ていませんが、「自分は何かができるのかを考えてみる。自分に言い訳したり、諦めたりしないで行動してみる。トライアンドエラーを恐れない」。それが私にとつての「自由を生き抜く実践知」だと思っています。



小堀… 最初は、オンライン経由での教え方に慣れていなかったのですが、てこずることもありました。そのため、CIS R A Tのメンバー同士でも定期的にミーティングを開き、情報を共有するようにして、対策を取っていました。大変だと感じたのは、時間の調整です。CIS R A Tのメンバーにもそれぞれ授業があるので、対応可能な空き時間をオンラインサポートに充てていたのですが、逆に、その時間は授業があるという学生もいます。その人にとっては、トラブルが起きていてもサポートを受けられないことになり。そうした不都合は、当初は想定できなくて、メールで相談されて初めて気づき、どうしたらより多くの人のサポートができるかを考え、学生の全授業と私たちメンバーの空き時間を総合的に鑑みて、スケジュールを決めるように工夫しました。前田… ペアごとに事情は異なりますが、小さなトラブルは数多くありました。時差があるので、お互いに都合のいい時間をすり合わせるのが難しかったり、時間感覚にも

ズレがあるので、約束の時間に始めることができなかったり、ネット環境が悪く話している途中で回線が突然切れてしまうことも。そうしたトラブルと一緒に苦労したことで、親密になれたペアもありました。総長… ネット経由で交流したことが、逆にメリットになったことはありませんか。前田… 画面越しに交流することで、物理的にも心理的にも、適度なソーシャルディスタンスが保てるように感じました。異文化を持つ相手と仲良くなる途中の段階では、直接会って交流する際に、心の距離感を測るのが難しいことがありますが。近づき過ぎて遠慮がなくなり相手を傷つけてしまったり、逆に気疲れしてしまうケースもあります。でも、ネット経由で交流していると、わずかなタイムラグがあり、その分冷静でいることができます。「これ以上は踏み込まない方が良さそうだ」「もう少し違う言い方はできないか」など、自分を省みることができると思います。森山… 一番大変だと感じたのは、準備期間の無さでした。限られた時間で、新しい企画をゼロからつくり上げるには、スタッフの協力は不可欠です。ただ、対面でのオープンキャンパスの中止が決まった時、頑張ってきたことが無くなったと意気消沈した何人かのスタッフは、活動を休止していました。タイミングが悪いことに、新入生からスタッフを勧誘することもできず、人手不足は否めませんでした。そこで、スタッフ一人一人に対し、

各自の仕事の目標や、やるべきことを細かく伝えることで、必要な存在であるというのを認識してもらい、モチベーションを取り戻してもらおうように働きかけました。また、準備期間が短いので、スケジュールは細かく設定して作業の効率化を図るなど、できることに全力で取り組みました。総長… 苦労が多かっただけに、終わった後には充実した達成感を得られたのではないのでしょうか。森山… 1年次からオープンキャンパスのスタッフをしています。どの年よりも、「スタッフが一致団結して協力したからこそ、やり遂げられた」という思いを強く感じました。リーダーとしてのプレッシャーもあったので、ほっとした気持ちになりました。

共に行動し、
経験を共有することで
実践知を継承

これまで経験してこなかったことに挑戦し、新しい実践知を得られたと思います。それをどのように生かしていきたいですか。

森山… 得られたノウハウは、後輩に引き継ぎます。新たに企画を立て直すことになっても、オープンキャンパスをやるうと決意したのは、受験を控えた高校生のためでもありましたが、これまでのオープンキャンパスの歴史を途絶えさせたく

総長… コロナ禍では、行動が規制され、それまでできていたことができなくなり、不自由だと感じた人も多いでしょう。ただ、ポジティブに考えると、通常とか常識という枠組みが強制的にリセットされたことで、まささらな状態から自分たちに何ができるかを考えて実践する「自由」を手にしたとも言えます。皆さんが今後どのような「自由を生き抜く実践知」を紡いでいくのか楽しみにしています。本日はありがとうございました。一同… ありがとうございます。

資格・採用試験への挑戦

さまざまな資格・採用試験の中でも難関として知られる司法試験、公認会計士試験、そして公務員採用試験。ここでは本学のサポート体制の紹介と試験に合格した学生の合格体験記をお届けします。

難関試験突破をサポートする 本学の取り組み

本学では、学生の希望に応じた資格取得や採用試験突破を支援する多彩なプログラムを用意し、キャリア形成をサポートしています。中でも難関試験といわれる司法試験、公認会計士試験については、正規のキャリアプログラムとは別に資格取得支援のためのプログラムを開設しています。司法試験を受験するには、法科大学院を修了するか、予備試験に合格して受験資格を得なければなりません。本学の法科大学院（専門職大学院法務研究科法務専攻）では、優れた教授陣による少人数教育、先進的な実務教育、多様なカリキュラムと高度な設備により、現代社会の複雑な法律問題に対応できる法曹を養成しています。

3年次には「刑事訴訟実務の基礎」の授業の一環として、模擬裁判（交互尋問）を行っています。この模擬裁判では、事件記録教材を用いて、証人尋問や被告人質問を中心に行い、交互尋問の方法を実践的に学ぶとともに、各人が法曹三者の役割を疑似体験することでそれまでに学習した刑事訴訟法が、実際の事件でどのようにして適用されるのかを実感してもらう狙いがあります。法科大学院棟は独立した建物で、

公務人材育成センター（公務員講座・法職講座）

公務人材育成センターは、2011年4月、「公務を担う人材＝公務人材」の育成を目的として設置されました。本センターでは公務員と法曹を公務人材の中核に位置付け、これらを目指す本学学生を支援するために、「公務員講座」「法職講座」を設置・運営しています。

講座はそれぞれ、公務員試験、法科大学院入学試験の対策を柱としていますが、試験対策にとどまらず、本学卒業・修了生で公務員や法曹として活躍されている方々の協力も得ながら、有為な公務員と法曹の育成を目指しています。

【公務員講座】 公務員入門講座（1年次）、公務員基礎講座（2年次）、国家・地方公務員上級職対策講座（3年次）、公務員技術職講座（3年次）を開講。学年に応じた学習カリキュラムと徹底した指導が特色です。

【法職講座】 司法試験合格を目指して、学部生の段階で学習しておくべきカリキュラムを提供し、基礎力を養成します。講義は、提携する外部専門学校の講師や、本学卒業・修了の弁護士が担当し、学生個別の学習・進路相談にも応じています。

※講座の内容は、年度によって変更になることがあります。

高度会計人育成センター（会計専門職講座）

高度会計人育成センターは、2014年4月、公認会計士や税理士などの高度会計人を目指す学生の育成を目的として設置されました。

本センターでは、全ての高度会計人に必要不可欠である簿記の資格取得を目指す「会計専門職講座」を開設しています。市ヶ谷、多摩の両キャンパスでコースを設置し、日商簿記検定試験3級から最終的には1級に合格する力がつくまで、卒業生の会計士を中心とした講師陣がきめ細かく指導します。

講座では、欠席した際のフォローとしてウェブサイトを通して自習できるシステムを設けている他、講師による個別面談や、「計算特訓」「公開模試大会」などのイベントも開催しています。

また、日商簿記検定試験1級の学習をしながら、本格的に公認会計士を目指す学生のために、大手専門学校に「公認会計士接続コース」を設置し、本センターのカリキュラムと連携した効率的かつ経済的な学習のコースを準備しています。

※講座の内容は、年度によって変更になることがあります。

資格取得、キャリアアップを応援する本学の奨学金制度

本学では、さまざまな特色ある奨学金制度を設け、学生の皆さんが意欲的に勉学に励み、充実した学生生活を過ごせるよう応援しています。

今回紹介する奨学金は、難関資格試験に合格した学部生（通信教育生を除く）を対象とした奨学金の①法政大学「開かれた法政21」奨学・奨励金の指定試験合格者奨励金 ②L・U（リーディング・ユニバーシティ）奨学金のL・Uキャリア・アップ奨励金（いずれも返還義務のない給付型の奨学金）です。

二つの奨学金の詳細は、それぞれ次の通りです。

法政大学「開かれた法政21」奨学・奨励金

指定試験合格者奨励金

奨学金額 40万円

対象 当該年度中の合格者全員（年間休学者を除く）

応募・採用条件 在学生のうち、司法試験予備試験、公認会計士試験、国家公務員採用総合職試験、税理士試験（全科目合格）、弁理士試験、司法書士試験に合格した者

申請方法 申請書、各試験の合格証書のコピー、本人名義の通帳のコピー、学生証のコピーを持参または郵送で次の担当に提出してください。詳しくはHoppiiのウェブ掲示板をご覧ください。

〈司法試験予備試験〉学務部学務課法政学部担当

〈公認会計士試験〉キャリアセンター市ヶ谷事務課

〈国家公務員採用総合職試験〉キャリアセンター市ヶ谷事務課

〈上記以外の試験〉各キャンパスの学生センター

申請期間 2022年1月14日（金）17:00必着

給付時期 2022年3月末を予定しています。

ただし、弁理士試験（全科目）合格者は4月下旬を予定

その他 法政大学高度会計人育成センター公認会計士試験短答式試験合格者奨励金採用者は30万円の給付とします。

これから在学中に何か資格を取得したいと思われる方は、

ぜひこれらの奨学金の給付を受けられるよう、上記試験合格に向けて積極的にチャレンジしてください。

奨学金についての詳細は、下記の各キャンパス学生センター奨学金担当窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ

【市ヶ谷】 学生センター厚生課（外濠校舎1階）

TEL. 03-3264-9486

【多摩】 学生センター多摩学生生活課（EGG DOME2階）

TEL. 042-783-2151

【小金井】 学生センター小金井学生生活課（管理棟2階）

TEL. 042-387-6011

L・U奨学金

L・Uキャリア・アップ奨励金

奨学金額 5万円

対象 当該年度中の合格者全員（年間休学者を除く）

応募・採用条件 在学生のうち、気象予報士試験、行政書士試験、高度情報処理技術者試験（プロジェクトマネージャ試験、システムアーキテクト試験、ITストラテジスト試験、ITサービスマネージャ試験、エンベデッドシステムスペシャリスト試験、データベーススペシャリスト試験、ネットワークスペシャリスト試験、システム監査技術者試験）、情報処理安全確保支援士試験、社会保険労務士試験、税理士試験（複数科目合格者に在学中1回のみ給付）、中小企業診断士試験、通訳案内士試験、不動産鑑定士試験に合格した者

申請方法 申請書、各試験の合格証書のコピー、本人名義の通帳のコピーを所属キャンパスの学生センターに持参または郵送で提出してください。詳しくは、Hoppiiのウェブ掲示板をご覧ください。

申請期間 2022年2月15日（火）17:00必着

ただし、気象予報士試験で2022年3月に合格発表があった方は3月18日（金）17:00必着

給付時期 2022年3月末を予定しています。

ただし、気象予報士試験で2022年3月に合格発表があった方は、4月下旬を予定

その他 複数の試験に合格した場合は、それぞれの試験について奨励金を給付します。ただし、「高度情報処理技術者試験」内で複数の試験に合格した場合でも、給付は在学中1回のみです。また、「高度情報処理技術者試験」と「情報処理安全確保支援士試験」の両方に合格した場合でも、在学中1回のみ給付とします。

2021年度に税理士試験（全科目）に合格し、「開かれた法政21」奨学・奨励金指定試験合格者奨励金を受給する方は、L・Uキャリア・アップ奨励金を併せて受給することはできません。

セキュリティカードによる入館管理を実施。全ての学生に専用の自習席を用意しています。また、館内のどこからでも大学院専用法律データベースにアクセスできるネットワークを完備し、学生にとって良好な学習環境を整えています。

なお、法学部法律学科では法曹コースを設置し、法科大学院と連携した一貫教育を行っており、条件を満たせば大学入学から最短5年で法科大学院を修了することができます。

また、学部から法科大学院への進学を念頭に置きつつ、司法試験に合格する学力の修得支援として、公務人材育成センター（次ページ参照）が「法職講座」を開設しています。法職講座から法科大学院へつながる体制により、より効果的な司法試験対策のための環境が整っています。

公認会計士試験対策については、高度会計人育成センター（次ページ参照）による「会計専門職講座（Hosei Accounting Profession Program：通称HAPP）」が開設されています。簿記初学者でも無理なく学べるカリキュラムのもと、卒業生を中心とした公認会計士資格を持つ講師陣がきめ細かく指導し、毎年現役合格者を輩出しています。

公務員採用試験対策については、公務人材育成センターによる「公務員講座」が開設され、学年に応じた

カリキュラムにより徹底した学習指導を行っている他、キャリアセンターでも公務員ガイダンスや省庁・自治体を招いての公務員業務説明会など、さまざまな支援行事を展開しています。こうした取り組みにより、毎年多数の公務員内定者を輩出し、公務員に強い「法政大学」を印象付けています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、会計専門職講座は対面授業を中心に据えつつオンラインも併用して、公務員講座はウェブ講座にて実施しています。通常は対面で行う講師との個別相談や面接練習会、各種ガイダンスなどもウェブ会議ツール（オンライン）や動画コンテンツを積極的に活用し、平常時と同等の支援を継続しています。

今後は、対面、ウェブそれぞれのメリットを最大限に活かしながら、各種試験対策をより強化していく予定です。



「卒業生による公務員の仕事相談会」の様子（2019年に開催）

2021年度難関資格試験結果のお知らせ

司法試験

司法試験は、短答式（択一式を含む）と論文式の筆記により行われます。

2021年の司法試験は全国で3424人が受験し、1421人（41.5%）が合格しました。合格者の平均年齢は28.3歳、男女別比率は男性72.2%、女性27.8%でした。本学では、法科大学院修了者から8人が合格しました（2020年は8人）。

公認会計士試験

公認会計士試験では、短答式試験の合格者が論文式試験を受験できます。

2021年度の試験には全国で1万4192人が出願し、1360人が合格しました。合格率は9.6%で、前年の10.1%を下回りました。合格者の平均年齢は24.5歳でした。本学では、2021年11月30日現在、12人の本学関係者の合格が判明しています。

公務員採用試験

国家公務員の採用試験は、総合職、一般職、専門職に分かれます。国家公務員採用総合職試験は、公務員試験の中でも最難関の試験で、2021年度は本学から10人が合格しました。また、一般職採用試験には97人が合格しました。

地方公務員の採用試験は、都道府県庁、政令指定都市をはじめとする地方自治体で行われ、試験内容は自治体によって異なります。本学は、首都圏を中心に全国の広域・基礎自治体へ毎年地方公務員を輩出しており、2020年度は305人が就職しました。



2022年度一般選抜に向けて

合格体験記

2021年度に司法試験、公務員試験に合格した方を代表して、2人の先輩から合格までの心構えや勉強法などの体験談を語ってもらいました。



司法試験合格者
大窪 義也
大学院法務研究科（法科大学院）
未修者コース修了

整えられた教育体制と学習環境

法政大学の法学部法律学科を卒業後、ゼミの先輩からの助言もあり、法科大学院で改めて法律を学ぶために未修者コースに入学しました。司法試験に合格することができたのは、本大学院の教育体制と学習環境が整っていたおかげだと思っています。

本大学院の教育体制の特徴は、徹底した少人数・双方向教育です。先生方との距離も近く、授業の際はもちろん、授業外でも疑問などを尋ねることができ、私の在学時には、先生が勉強合宿を開催してくださり、有志で山梨まで行ったこともあり。また、学生同士や卒業生との距離も近く、先輩とゼミを組んでもらったり、司法試験に合格した先輩に指導を仰ぐこともできます。随時疑問をぶつけながら、能動的に議論に参加することができ、ただ受動的に話を聴いているよりも、深い理解を得ることができました。司法試験に向けた学習の一環として非常に有意義なものだったと思っています。学習環境も、司法試験に向けた学習

をするために、とても良く整えられた設備になっています。学生には専用の自習席（キヤレル）やロッカーが与えられ、そこで集中して勉強をすることが可能です。法科大学院棟には図書室も併設されていて、資料が欲しいときにすぐに確認できるため、非常にスムーズに勉強することができました。

専用キヤレルは、大学院修了後も司法試験の合格までは在学時と同様に借りることができ、法科大学院棟は年末年始期間を除けば基本的に開いているため、1年を通して集中できる環境で学習を積むことができました。私は修了後4回目の司法試験でようやく合格できたのですが、その間ずっとキヤレルを借りており、在学時と変わらぬ環境で勉強ができたのは、司法試験合格を果たす大きな要因になりました。

このように、法政大学法科大学院では着実な成長が期待できます。皆さんが本大学院に入学して司法試験に合格する日を楽しみに待っています。



公務員試験合格者
衆議院事務局内定
渡辺 寛明
経営学部経営学科 4年

立法府の中から国政をサポート

3年次に公務員の業務説明会に参加して、今まで身近に感じてこなかった国家公務員の具体的な仕事や留學制度を知り、自分もその一員として働きたいと思ったのが、国家公務員を志望したきっかけです。

その中でも特に、就職先として衆議院事務局を選んだ理由は、国権の最高機関であり唯一の立法機関である国会で、多角的に立法活動を支えるという業務の独自性に興味を持ったからです。衆議院事務局の業務は、会議運営部門・調査部門・憲法審査会事務局・情報監視審査会事務局・その他の議員（院）活動補佐などに分けられています。省庁や在外公館などへ出向する機会もあります。私もさまざまな場所への出向を経験し、視野を広く持った公務員として立法府の中から国政をサポートしていけるように頑張ります。

式の教養試験と専門試験が課され、2次試験では記述式の専門試験と政策論文、面接試験が課されました。私は公務員試験の勉強を始めるまで法律の勉強をしたことがなく、記述式の専門試験に苦手意識がありました。そのため、苦手な単元を中心にウェブで講義を受け直したり、法律答案の型を意識しながら答案を書く練習をしました。また、4時間で3題解答という試験形式だったので、時間配分にも注意しました。本格的に試験勉強を始めたのが遅く、模試の結果が悪い時には焦りが集まりましたが、目の前のやるべきことだけに集中するように心掛けていました。

公務員試験については、国家公務員総合職（法律区分）、衆議院事務局に最終合格しました。国家公務員総合職の法律区分では、1次試験として択一

2021年度一般選抜概況

本誌8・9月号で既報のとおり、本学の2021年度一般選抜志願者数は、前年度から1万2672人減の9万956人で、2年連続1万人以上の減少となり、6年ぶりに10万人を下回りました。大学別志願者数ランキングも前年度から一つ下がって全国第6位となり、2年連続全国第1位だった実志願者数も、6786人減の4万5490人で全国第2位でした。本学に限らず、多くの大学で志願者数が減少しており、志願者数10万人を超えた大学は、前年度の8大学から2大学へと大幅に減っています。

その原因としては、18歳人口の減少や既卒受験生の減少もあり、感染の影響が大きかったのではないかと考えられます。感染拡大への不安や家計状況の悪化などにより、首都圏の大学への進学を控えたり、併願数を大幅に減らした受験生も多かったのではないかと考えられます。また、総合型選抜や学校推薦型選抜の受験が増えたことの影響も少なくありません。

2022年度一般選抜における変更点

2022年度一般選抜では、社会学部全学科と国際文化学部で新たに英語外部試験利用入試（出願資格型）を実施します。これにより、経営学部を除く14学部で英語外部試験利用入試の受験が可能となりました（文学部は英文学科のみ、経済学部は国際経済学科のみで実施）。

また、GIS（グローバル教養学部）のA方式入試について、これまで「英語S」「国語」の2科目受験でしたが、今回から「英語S」を廃止して、英語外部試験のスコアを出願資格かつ「英語」の得点に換算し、さらに試験科目に「選択科目」を加えて、「英語（英語外部試験スコアを得点換算）」「国語」「選択科目」の3科目で合否判定を行うことになりました。「選択科目」の試験問題は同じ試験日（2月7日）に実施される文学部・経営学部・人間環境学部と共通のため、過去問題は2月7日の「選択科目」を参考にしてもらうこととなります。

今回の変更により、GIS（グローバル教養学部）は一般選抜で実施する

る全ての方式（英語外部試験利用入試、A方式入試、大学入学共通テスト利用入試B方式）で英語外部試験のスコアが必要となります。

入学手続システムを導入

これまで本学では、一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜など、全ての入試において、合格者に対して合格通知書ならびに入学手続関係書類を郵送し、入学手続者は専用用紙を使って入学手続金を振り込むとともに手続書類を返送することで完了していました。2022年度入試からは入学手続システムの導入により、合格通知書ならびに入学手続関係書類の郵送を廃止し、合格通知書を含む各種書類の閲覧および入学手続は全てインターネット上で行うことになりました。

一般選抜における

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症への罹患などにより、2022年度一般選抜のうち、T日程入試、英語外部試験利用入試、A方式入試を受験できなかった場合は、一定の条件のもと、追加の入学検定料（受験料）な

して同一学部・学科（専修）の大学入学共通テスト利用入試B方式への振り替えを可能とする特別措置を実施します。また、地域会場を含む全ての試験会場において、昨年度と同様、感染防止対策として、教室の定員を減らして座席間の距離を確保するとともに、監督者や誘導員のマスクやフェイスシールドなどの着用、受験生のマスク着用、各所への手指消毒や換気など、受験生の皆さんが安心して試験に臨み、実力を発揮できるような準備を進めています。

2022年度一般選抜における変更点や新型コロナウイルス感染症への対応に関する詳細については、入試情報サイトでご確認ください。

>>> 入試情報サイト
<https://nyushi.hosei.ac.jp/>



*本誌8・9月号9ページに掲載した「志願者数10万人を超えた大学が前年度の5大学から2大学に減る」は「8大学から2大学に減る」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。



地球への負荷をさらに軽減する 21世紀農業における病害虫防除

生命科学部応用植物科学科 教授 津田新哉



植物は、さんさんと降り注ぐ太陽の光

を浴びて、土の中の水分と養分を吸収しながら生きています。人間を含む動物は、直接的あるいは間接的にその植物を食料として受け取っています。その命をつなぐ食料の生産活動を産業にしたのが農業です。近代農業では、作物の品種育成や栽培技術などの発展により、十分に食料を生産できるようになりました。しかし、大地に根を下ろして生きている植物は身動きができません。特に、作物の減産に直結する病害虫の発生は食料の安定生産を脅かし、人々の生活を不安に陥れます。歴史上では、病害虫被害に端を発した大飢饉により、大陸間で民族の大移動が起こったこともあるほどです。その深刻な問題を克服するため、人類は19世紀末に革新的な技術「化学農業」を発明し

ました。

作物の安定生産を実現する
化学農業の明と暗

病害虫を効果的に防除する化学農業の発明は、世界の食料生産レベルを飛躍的に高めました。特に、温暖多雨な気候により病害虫が多発するわが国の農業では、均質な作物の多収栽培の実現など、化学農業の多大な恩恵に浴しています。しかし、絶大な効果を発揮する農薬ほど、時に自然界から強烈なしっぺ返しを受けることがあります。ある種の化学農薬は、用法・用量を守っても、長期間の使用により病害虫の薬剤抵抗性の発達を助長しました。また、別の農薬では、周年栽培で起こる連作障害を巧妙に制御しましたが、ガス化した成分が宇宙紫外線の侵入を防ぐ地球のオゾン層を破壊してしま

た。適応内処方とはいえ、耕作面積当たりの使用量が世界で上位にあるわが国では、これまでと同じような使い方をしているのは、地球に予期せぬ負荷をかけてしまうことが危惧されます。先進国の一員としてそれを未然に防ぐためにも、農薬の使用量をできるだけ削減しなければなりません。作物の安定生産を維持しつつ、環境にも配慮した農業を持続的に展開するためには、化学農薬だけに頼った病害虫防除から軸足を動かす必要があります。近年、生き物が持つ特性に着目した、病害虫の新たな防除技術が開発されています。害虫の生体反応を逆手に取って耕作地に近寄せない技術や、微生物間の勢力争いの仕組みを応用して病原菌の増殖を抑制する技術などがその一例です。防除技術は、化学農薬による「殺虫・殺菌」の一辺倒から、自然の摂理を利用し

た。適応内処方とはいえ、耕作面積当たりの使用量が世界で上位にあるわが国では、これまでと同じような使い方をしているのは、地球に予期せぬ負荷をかけてしまうことが危惧されます。先進国の一員としてそれを未然に防ぐためにも、農薬の使用量をできるだけ削減しなければなりません。作物の安定生産を維持しつつ、環境にも配慮した農業を持続的に展開するためには、化学農薬だけに頼った病害虫防除から軸足を動かす必要があります。近年、生き物が持つ特性に着目した、病害虫の新たな防除技術が開発されています。害虫の生体反応を逆手に取って耕作地に近寄せない技術や、微生物間の勢力争いの仕組みを応用して病原菌の増殖を抑制する技術などがその一例です。防除技術は、化学農薬による「殺虫・殺菌」の一辺倒から、自然の摂理を利用し

た「制虫・制菌」を理念とするものへと発展しようとしています。

生き物の活動を制御する物理的防除技術

病害虫に影響を与える物理的因子として、光・色（波長）、音（振動）、温度などが注目されています。光・色を使った技術では、害虫が嫌う特定波長のLED光線を用いて害虫を作物から遠ざける技術や、害虫の視認効果を増強して捕殺率を向上させた色彩粘着板などが開発されています。また、作物のカビの病気に対しては、紫外線照射装置と反射シートを組み合わせた技術の有効性が示されています。音を利用した技術では、害虫を捕食する動物が発する超音波を擬似的に再生させる装置を開発し、それを害虫の活動が旺盛になる夜間に稼働させることで、栽培地から害虫を忌避させる新たな技術も創出されました。温度では土壌病原菌を対象に、その菌は死滅するが植物は耐えられる温度のお湯を畑に灌注することで、果樹の土壌病害を治療する技術も生まれています。

生き物の均衡を利用した生物防除技術

生き物の勢力争いを利用した防除技術では、害虫のアブラムシ類を捕食する天敵のナミテントウを利用した技術が世間の耳目を集めています。最近では、カメムシ類やアザミウマ類、さらにはカブリダニ類に至るまで多くの虫が天敵として

開発され、生物農薬として農林水産省に登録されています。また、植物病原菌の感染拡大を抑制する善玉菌のカビ、細菌さらにウイルスなどの微生物も生物農薬として開発されています。人間が新型コロナウイルスに悩まされているように植物にもウイルスの病気がありますが、それを防除する化学農薬はまだありません。しかし、植物ウイルスが示す不思議な現象を利用した防除技術が知られています。あるウイルスが感染した植物は、後から侵入する同種や近縁ウイルスの感染を防ぐ「干渉作用」という現象を示します。強毒性を示す病原ウイルスが複製する時に高温や低温などの環境ストレスをかけると、植物への毒性を失った弱毒株に変異することがあります。その弱毒株をあらかじめ植物に接種しておくことで、干渉作用の働きで後から来る病原ウイルスの感染を防ぐことができます。このような弱毒株を「植物ウイルス

スワクチン」といいます。一例として、ピーマンのモザイク病を予防するワクチンがあります。そのワクチンを予防接種したピーマンは、病原ウイルスに対して高い防除効果を示します（写真）。さらに、そのピーマンから収穫される果実は品質および収量とも標準の範囲内です。このワクチンは、ピーマンを3割以上減収させるモザイク病の感染を防ぎ、農家の経営を支援する強力な技術になります。

21世紀農業のあるべき姿

20世紀の農業は、化学工業由来の肥料や農薬などに強く依存した生産体系でした。しかし、いくら品質の良い作物を大量に生産できるとしても、地球環境に負荷をかける体系では長続きはしません。21世紀に展開する病害虫防除は、化学、物理および生物など作用点の異なる複数の技術をバランス良く組み合わせ、農家の経営も成り立つ総合防除体系の「総合的病害虫・雑草管理 (Integrated Pest Management: IPM)」へ進化していくかなければなりません。農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和に留意しつつ環境負荷の軽減に配慮したIPM体系を多くの産地に実装する必要があります。関係者の英知を結集し、産地に最適となるIPM体系を地球規模で実践していくことが、作物の持続的安定生産を実現する21世紀農業の基本になると確信しています。



ピーマンに接種したワクチンの予防効果



Tsuda Shinya

主な研究は、野菜類に発生する植物ウイルス病の感染メカニズムおよび伝染環の解明、ウイルス病診断技術および防除技術の開発など。2018年から現職。前職は、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構の病害研究領域長。2008～2010年に「モントリオール議定書」締約国会合日本政府代表団技術顧問を務めるなど、日本の環境保全型農業技術開発を率先する研究者の一人。2019年度に「日本植物病理学会賞」を受賞。



谷崎潤一郎や越境文学を題材に 言語と文学の在り方を探究

国文学の概念に収まりきれない越境文学の研究に取り組んでいるグレゴリー・ケズナジャット准教授。
日本語を母語としないからこそその視点で探究を深めています。

GIS(グローバル教養学部) グローバル教養学科 准教授 **グレゴリー・ケズナジャット**



谷崎潤一郎作品との 衝撃の出会い

専門は近代と現代の日本文学の研究です。主に谷崎潤一郎と、文化と言語の越境を描く文芸作品、いわゆる「越境文学」を研究対象としています。

最初は、言語の難易度の高さから日本語に興味を持ち、日本文学を読む中で谷崎潤一郎の作品に出合ったことが人生の転機になりました。

最初に読んだのは、英文に訳された『陰翳礼讃』という随筆でした。日本と西洋の美意識を本質主義的に論ずる内容に反感を抱き、気分良く読み終えられませんでした。自分はずいぶんこのように感じたのか、このような作品を書く谷崎潤一郎とは何者だろうと気になり、探究するようになったのです。

谷崎潤一郎は独特な存在で、文壇デビューした当初は異端児扱いされていました。それがいつしか日本を代表する文豪となり、作品は教科書にも掲載されています。どのような変遷で、谷崎潤一郎の独自性が国文学制度に組み込まれていったのか、そのプロセスにも着目して研究を進めています。

越境文学の作家の一人として注目しているのは、法政大学の国際文化学部在籍されていたリービ英雄名誉教授です。1980年代から創作活動を続け、を介することで、新たな解釈が生まれることもあり、有意義な方法だと思っています。

現代社会では、身の回りの至るところに「言葉」や「文章」があふれています。その意味で私たちは常に「読者」として生きています。誰が、どのような状況で、何を伝えたくて書いたのか。それを判断するには、使われている言葉や文章表現から文意をくみ取る読解力を鍛えることが大切です。読解力は、表面的な情報に踊らされることなく、物事の本質を見極めるための「実践知」なのです。

本を読むことは、読解力や思考力の訓練に役立ちます。理解しやすいものだけでなく、少し難しい内容にもチャレンジしてほしいですね。手間と時間をかけながら、丁寧に理解した内容は、苦労が多い分深い学びを得られます。慌てずに向き合い、深く考えてみてください。その経験が成長につながるはずですよ。

Gregory Kheznejat

1984年生まれ。米国クレムソン大学文学部英文学科と同大学理工学部情報科学科卒業。同志社大学文学研究科国文学専攻博士前期課程、同博士後期課程修了。博士(国文学)。関西大学非常勤講師、青山学院大学地球社会共生学部助教などを経て、2017年より本学GIS(グローバル教養学部) グローバル教養学科非常勤講師に兼任、2020年より准教授、現在に至る。2021年に第2回京都文学賞の一般部門と海外部門の両方で最優秀賞を受賞し、受賞作『鴨川ランナー』(講談社)を刊行。

小説を書くにあたって、頭を悩ませた表現の一つが人称です。『鴨川ランナー』では、主人公が「きみ」という二人称で語られます。英語では、「あなた」を示す以外に「世間一般」を表



2021年に第2回京都文学賞の一般部門と海外部門の両方で最優秀賞を受賞。受賞作『鴨川ランナー』(講談社)は10月に刊行された



2015年に上海にて開催された、谷崎潤一郎没後50周年記念国際シンポジウム「物語の力」に参加。研究発表を行った



2017年に大学院の博士後期課程を修了。日本語で日本文学を学修するために、日常でも英語を封印していた

日本語で書かれた文学の新たな可能性を切り開いた作家です。リービ先生の作品をはじめとする越境文学との出会いが、自分も日本語で小説を書いてみたいと思うきっかけになりました。

英語圏で育ったからこそ 書けた小説

2007年から日本で暮らし始めて、14年以上になります。来日してすぐに日本の学校で外国語を指導する助手として派遣された先が京都で、その後、同志社大学の大学院に入学して卒業するまでの10年間を過ごしました。

大学院では意識的に英語を封印し、日課として日本語の小説を読み、日本語で生活することで、生きた日本語を身に付けようと奮闘していました。

当時は日本語の勉強の一環として日記をつけ始めました。しかし行動を記録するだけでは内容が単調となるので、徐々に情景の描写を増やして、時には虚構の話も書いてみました。虚実ない交ぜのこの文章を基に書いた小説が、京都文学賞を受賞した『鴨川ランナー』です。

成長のためにはある程度の負荷が必要
グローバル教養学部では、全ての授業を英語で行うため、題材にする日本文学は英訳された翻訳作品です。日本語の作品を英語で学ぶのですから、回り道のような感覚になりますが、翻訳

す一般論でも二人称の主語を使うことがありますが、さらに、自分の話を一般化する場合は、気恥ずかしさをごまかそうとする気持ちが含まれます。「自分が特別なのではなく、誰もがすることだから」というニュアンスを暗に示しているのです。題材が私小説に近い内容なので、主人公と私を切り離す意味でも二人称が最適だと思ったのです。日本語で書かれた小説では珍しい人称で、読者は最初に戸惑うかもしれませんが、読み進めるにつれて主人公に感情移入し、非母語話者の立場から日本語を体験できると思います。

第二言語を用いて小説を書くこと表現に苦労することもあります。それは逆に文章を深める機会となります。母語ではつい手を出してしまいがちな、使い古された慣用語や言葉を失うと何が残るのか。そこで書き手の感覚が試されると思います。

これからも小説を通してこういった問題を問いつけたいと思います。

「**箏**」(琴)、三味線、尺八という3種の和楽器を使った合奏形態が「三曲」です。三曲会での流派は、箏が生田流、尺八は都山流、扱っている三味線は地唄三味線です」と解説してくれたのは齋藤さん。「和楽器の合奏は、響きに迫力があって魅了されます。演奏しながら音色の重なりを感じる、ついついテンションが上がります」と笑顔を見せます。

三曲会では古典音楽から現代邦楽まで幅広く扱っており、演奏会などで練習の成果を披露しています。特に活動の節目となる「定期演奏会」は、学外のホールを借りて一般客を招くなど、力を注いでいます。2020年は感染症拡大防止のため中止となりましたが、2021年は規模を縮小して開催しました。

「楽器があればどこでも演奏できるので、他大学の方と合同演奏する機会も多いです」と語るのは水越さん。関東学生三曲連盟に所属し、コロナ禍前は連盟主催の合同合宿や演奏会などにも参加していました。「和楽器サークルのコミュニケーションは交流が盛んなので、いい刺激になります」と意欲を語ります。

部員たちの練習は熱心で、以前は6泊7日の強化合宿をしていたこともあるほど。尺八を担当する花立さんは「最初は肺活量が足りなくて、

和楽器サークル「三曲会」

箏・三味線・尺八で奏でる「三曲」の音色に魅了されて



クラブ・サークル

前左列から、花立七彩さん（国際化学部国際化学科4年）、齋藤百世さん（文学部日本文学科3年）、森優太郎さん（法学部政治学科2年）、後左列から、水越友梨奈さん（キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科4年）、宮本しえりさん（文学部日本文学科3年／代表）
※撮影時のマスクを外しています



華やかな和装姿で、練習の成果を披露する定期演奏会。フィナーレは2年以上の部員全員が参加する迫力の大合奏（写真は2019年）



2021年度の第59回定期演奏会、感染予防対策を講じ規模を縮小して開催。2年ぶりの演奏会に、期待と緊張を隠せなかった



三曲合奏は曲によって楽器編成が異なる。箏と尺八で演奏される箏曲「春の夜」では、箏の奏者は歌も歌っている

思うように吹けず、長い曲の演奏が、つらくて心が折れそうになりました。しかしそんな練習のいいかげん、演奏会で完奏できた時には感無量でした」と思い出を振り返ります。

コロナ禍の影響で合奏練習ができなくなると、個人レッスンで講師の先生に月3回稽古を付けてもらいながら、個別練習に励みました。「尺八の先生はプロの演奏家の方で、箏と三味線の先生は三曲会を卒業された先輩です。先生方は、コロナ禍での練習の支えになってくださいました」と全員が感謝を語ります。

2年生の森さんは「コロナ禍で入部して丸1年は一人で練習することしかできませんでしたが、三曲会は和やかで面倒見のよい雰囲気があった不安はありませんでした。初心者の方に楽器を貸与してくれて、先輩方が吹き方を丁寧に教えてくれたことが印象深いです」と振り返ります。

「約60年の歴史がある三曲会は、卒業生との関わりも深く、演奏会を楽しむにきてくださる方もいます。これからも伝統を大切に守りながら、活動を続けていきたいです」と語るのは代表の宮本さん。コロナ禍に負けることなく、大学祭などでは体験教室を開催。和楽器演奏の楽しさを、もっと広く知ってもらいたい」と全員が声をそろえます。

経営理論に基づき、企業戦略やイノベーション、マネジメントの研究に取り組み近能善範教授ゼミ。元ゼミ長の東さんは「教授から提示された課題に基づいて、企業の売上高などの業績データや財務データから経営戦略を分析しています。まとめた結果はプレゼンテーション形式で発表したり、将来性について議論するときの材料にしたりしています」とゼミでの活動を語ります。

公認会計士試験の試験委員や官公庁の委員を務めるなど、学外と関わることも多い近能教授。将来、社会人として働くことを想定して「チームで課題に挑戦する経験を積んでほしい」と実践的な課題を提示し、学生の即戦力を強化しています。

3年次の春学期はテキストを要約しながら学び、商品やサービスに関する課題にも取り組みます。「将来性のあるサービス」という課題でコーヒーマーケットを無償で貸し出すサービスに着目したのは松原さん。「手軽にコーヒーマーケットが飲めるだけじゃなく、人が集まる場を作った交流のきっかけになるような付加価値があると感しました」と着目した理由を語ります。

毎年12月には、他大学とのゼミ交流会を開催。3年次の学生を対象とし、チームで課題に挑戦します。文具メーカーを担当するチームに属する

経営学部市場経営学科 近能善範教授ゼミ



経営理論をベースに実践的な課題に挑戦し企業の未来を予測する

ゼミナール・研究室

上段左から、近能善範教授、東優吾さん（市場経営学科4年）、金木美蘭さん（経営学科4年）、下段左から、渡辺大晟さん（経営学科3年／ゼミ長）、松原陽菜さん（経営学科3年） ※全員、経営学部

※今回はオンラインで取材しています



ゼミの活動は、チームに分かれたグループワークが中心。対面で活動する際は、万全な感染対策のもと発表に向けた話し合いをしている



3年次の12月頃には、横浜国立大学経営学部のゼミとのゼミ交流会を実施（2020年はリモート環境で開催）。初対面の相手との意見交換は新たな刺激になっている



4年次には、企業訪問などのフィールドワークも実施（2021年はリモートにて実施）。写真はコロナ禍前の2020年1月に実施した時の一枚

現ゼミ長の渡辺さんは、「利益率を上げるための提案ができるように、売上高の推移などのデータを基に、企業分析を進めています」と準備の様子を語ります。「説得力を増すためには、自社を分析するだけでなく、業界分析や競合他社との優位性など、さまざまな視点から根拠が必要で、データの重要性を感じました」と、課題に取り組み意義を語ります。

4年次は、ゼミ活動の集大成として、4年生全員が協力して、一つの企業を徹底分析。完成した企業研究を年度末に発表し、共同執筆で論文も完成させます。これまでは、企業を訪問して実地調査も行っていました。コロナ禍のため2020年以降は規模を縮小しリモートで実施。情報共有しやすいネット環境を活用して連携をとりながら、データ分析と考察を中心に活動を進めています。

「近能ゼミは、ゼミ生全体の空気が明るく、一人一人が意見を出しやすい和気あいあいとした雰囲気です」と語るのは金木さん。「企業分析には裏付けや根拠に基づいた思考が必要で、解のない課題に挑戦することで、チームで協力して答えを導き出す実行力が身に付きます。その力は、きっと社会に出てから自分の糧になると感じています」と未来を見据えます。

※イノベーションマネジメント
企業の成長および価値創出のカギとして、革新的な商品やサービス、仕組みを生み出す「イノベーション」を実現させるためのマネジメント

THE SCENE

大学有数の歴史と実力を誇る、法政大学体育会。
そんな伝統ある40体育会が日々活動しているワンシーンを、迫力あるカラーグラビアで紹介します。



フェンシング部

撮影場所：市ヶ谷総合体育館内
フェンシング場
撮影：田中伸弥
集合写真：フェンシング部提供

フェンシング部は1935年に創部され、男女ともに関東学生フェンシング連盟1部リーグに所属しています。日本フェンシングの発展に大きく寄与した渋谷忠三氏は、本学フェンシング部の創始者でもあります。2019年全国学生フェンシング選手権大会(インカレ)では男子フルール団体3位、男子エペ団体準優勝、女子フルール団体準優勝、女子サーブル団体3位という結果を残すことができました。その活躍は国内に留まらず、世界選手権やオリンピックで活躍する選手も多く輩出しています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大会が中止になりましたが、さらなる躍進を目指し、部一丸となって日々練習に励んでいます。

Message

「自由を生き抜く実践知」を
体現している
学生の声を届けます。

大学生活を捧げて、 一生分の笑顔を見た

お笑いサークルHOS所属漫才コンビ「リバイアサン」

経済学部国際経済学科4年
Saeki Ryo

佐伯 瞭 さん (写真・左)

社会学部メディア社会学科4年
Kubotera Ryusei

久保寺 竜誠 さん (写真・右)

佐伯さんと久保寺さんはお笑いサークルHOS(以後、HOS)所属のコンビ「リバイアサン」として、国民的大学生芸人グランプリ「大学芸会2021」に出場し、336組の中から優勝を果たしました。

優勝できたことは、言葉では例えられないほどうれしかったです。全ての参加者が大学お笑いを盛り上げようとする気持ちにあふれた、非常に良い大会でした。

昨年の「大学芸会」が中止になった分、参加者たちの意気込みが強く、プレッシャーも感じましたが、HOSの「みんなで勝ち上がろう」という雰囲気は救われました。お笑いに真剣に向き合う仲間たちとともに、それぞれのお笑いに取り組み姿を見て、刺激を受けてきたことが強みになったと思います。

自分たちの漫才は、お笑いの中で「リズムネタ」に分類されると思います。ボケに対して、テンポ良くツッコミを入れるのですが、機械的に繰り返すツッコミの中に、観客の感情を揺さぶる展開を入れたと評価していただきました。

ネタをつくる時は、佐伯が言っていたセリフや語呂が良い言葉を久保寺に提案し、それらをうまく構



成できるか、先輩方と展開を考えた
りしてネタに落とし込みます。

そうしてできたネタをライブで披露して、ウケたときのお客さまの笑顔は格別ですが、ネタの面白さが伝わらずに笑ってもらえないことも頻繁にあります。ライブの客層を把握して、ボケを入れ替えたり、抽象的な表現を減らしたりと、笑いつながる工夫を常に考えながらネタづくりをしていました。

実は、「リバイアサン」はサブコンビです。佐伯も久保寺も、別の相手ともコンビを組んでいて、そちらをメインと考えて活動してきました。ですが、

サブコンビでいたからこそ、枠に縛られることなく自由な芸風を追求できました。4年間、新しいことに挑戦し続けたことが、今回の結果に結び付いたと考えています。

卒業後はお互い別々の進路を進むことになりましたが、HOSでの活動を通して、何かに全力で取り組んだという経験は、必ず困難を乗り越える糧になると思っています。

大学最後の大会は、2月の全国お笑いサークル団体戦「NOROSHI」です。たくさんの人を笑顔にして優勝し、「全国イチ面白いサークル」の称号を得たいと思っています。

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

2022年を迎えるに当たって



後援会会長
友利方彦（文香／国際文化学部）

日頃から、後援会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2020年より世界中で猛威を振るい始めた新型コロナウイルスの影響は、さまざまな方面に暗い影を落としています。特に大学生に与えた影響は計り知れず、早期沈黙化により、かつての学生生活を取り戻すことが急務となっています。

そうしたコロナ禍の中、2021年6月にスタートを切った2021年度の後援会活動も、早いもので半年が経過しました。この間、例年の活動に少しでも近づけようと、手探りの状態で後援会運営を執り行ってきました。

2020年度は一律に開催を自粛した支部総会・父母懇談会、首都圏父母懇談会については、オンラインまたは対面併用方式で開催することができ

ました。新たな方式を導入したことで、例年より参加申込者数も増え、会員の皆さまの関心の高さをうかがい知ることができました。オンライン方式の採用により、会場までの移動なしに参加することが可能となり、後援会活動

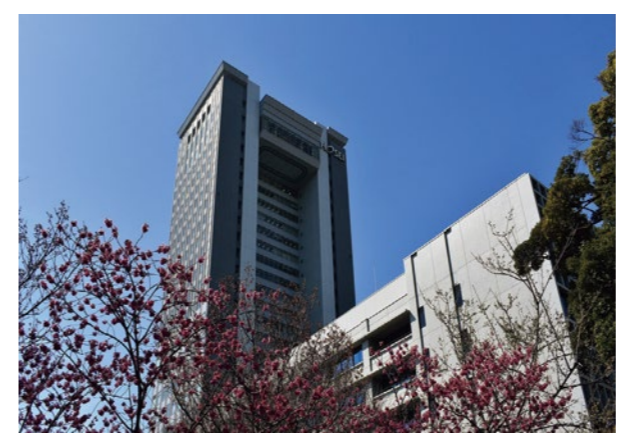
身近なものに感じられるようになった一方、リアルな対面とは異なり、モニター越しでの交流の難しさを感じている方も多いのではないのでしょうか。今後もオンライン方式を併用した活動がしばらく続くという前提の下、会員相互の交流の図り方などを工夫していく必要があります。

大学もこの間、学生の学びの機会を確保することに努めてくださいました。いわゆる3密を避けるための環境整備や授業の工夫、大学拠点でのワークチン接種の実施などに取り組んでいただき、そのおかげで、秋学期授業は対

面を基本としつつ、オンライン方式も併用して進めていただいています。これまでの大学の取り組みに感謝申し上げます。

私立大学入学生定員の厳格化に伴う会員数の減少、支部会員数の減少下における支部活動の維持など、後援会を取り巻く環境も厳しさを増しております。それに加え、コロナ禍で縮小と中断を余儀なくされた、75年の歴史と伝統のある後援会活動の再開と継承も喫緊の課題です。

会員の皆さまのご意見に耳を傾け、定着化しつつある新たな活動方法なども取り入れた、持続可能な後援会活動を目指してまいります。また、校友会との交流やHSC（法政スポーツコミュニティー）のスポーツ応援を通して会員相互の交流についても、関係者と相談しながら再開できればと



考えています。
一日も早く平穏な日々が戻り、会員の皆さまにとって2022年が幸多き年となりますよう祈念申し上げます。

支部長会議報告



後援会副会長
石井 亘（小雪／社会学部）

日頃より後援会活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

今回の支部長会議は、11月13日（土）に市ヶ谷キャンパス外濠校舎薩埵ホールにて開催しました。前年度と同様に、会場への来場とオンラインの併用で開催し、本部と支部を合わせ、来場48人、オンライン25人の参加となりました。前年度の支部長会議以降、オンラインでの会議開催も経験したことにより、前年よりスムーズに進行でき



廣瀬克哉総長より大学の近況や大学の状況などについてお話しいただいた後、五つのグループに分かれ、次の二つのテーマで意見交換を行いました。

- ① 来年度の役員確保と父母懇談会の実施について
- ② 支部会員数減少下の支部活動の在り方について

今回は、支部長会議に先立ち、全支部に対してこれらのテーマに関するアンケートを実施し、同じような課題を持つ支部でグループを構成したこともあり、活発な意見交換がなされました。テーマ①では、「役員のメリットをいかに伝えられるかが重要」といった意見が多く、支部から出た他、懇談会に参加してもらうために案内状で工夫している事例紹介などもあり、他の支部が大きくうなずくような場面も見られました。

テーマ②では、事前のアンケートで「父母懇談会の開催を本部に委ねたい」との意見が多くあった一方で、「できれば自分たちで対面での懇談会を開催したい」といった本音も聞かれました。また、コロナ禍の影響で「対面形式の



懇談会を開催したくても、ノウハウが継承されていない」「下級生会員に対してノウハウを継承できない」といった課題も明確になりました。

グループごとの意見交換の後、各グループから討議内容を発表していただき、全体で情報を共有しました。最後に、「本日の内容を持ち帰り、各支部で今後の取り組みの参考にしたい」「今後の支部活動の在り方については、支部と本部が一緒になって考えていきたい」という総括をもって閉会となり



ました。
後援会活動をより良いものにしていきたいという思いは同じですので、今後も皆さまの協力の下、本部、支部ともども取り組んでいきたいと思えます。最後になりますが、支部長会議の開催に当たり、廣瀬総長をはじめ、多くの大学関係者の皆さまにご協力いただきましたこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

※()内は子どもの名前／学部

2021年 写真で振り返る後援会



- 1 4月3日 入学式
- 2 5月15日 幹事会
- 3 6月6日 新入生父母の集い(静岡支部)
- 4 6月12日 運営会議
- 5 6月19日 役員研修会
- 6 7月1日 大学常任参与と運営委員との懇談会
- 7 7月25日 支部総会・父母懇談会(長野県支部・30周年記念)
- 8 10月9日 首都圏父母懇談会(多摩)
- 9 11月13日 支部長会議

総長・学内理事と後援会との懇談会報告

～ウェブサイト掲載のご案内～

2021年11月24日(水)、九段北校舎において総長・学内理事と後援会運営委員との懇談会が行われました。後援会ウェブサイトに運営委員の懇談会報告を掲載しておりますので、ご覧ください。



後援会ウェブサイト
<https://www.hosei-koenkai.org/>

体育会応援(野球部) 親からの応援メッセージ 社会人となる銀二へ GOMYWAY



三浦礼子(銀二/キャリアデザイン学部)

野球のプレーヤーとして体格的には恵まれた方ではないにもかかわらず、地道な努力をして目標に向かう姿に、わが子ながら素直に尊敬しています。幼少期から活発で、常に身体を動かして、側転や倒立ブリッジをして陽気に遊んでいました。あの頃は、体操や格闘技などの個人競技に取り組んでほしいと考え、本人と一緒に見学や体験を重ねましたが、全く興味を示さず、少し残念に思っていました。小学4年生の頃には、世界で活躍できるアスリートを育てる福岡県タレント発掘事業にもチャレンジしました。少年野球の試合の間を縫って臨んだ最終面接で、面接官の「自分の適性に合ったスポーツが見つかったら、そのスポーツに取り組みます」



「少年野球」小学4年生以下の大会で決勝まで連投が続き、肘を痛めてしまった

か？」という質問に、「野球かサッカーしかやれません」とはつきり答えて息子にとても驚いたのを覚えています。結果は当然、不合格でした。今思えば、この頃からはつきりとした夢があったのでしょう。学校の授業で書いた作文「銀二の一生」には、「某球団の選手として活躍」と書いていました。野球を始めた当初は、監督のサインが読み取れず、試合から帰宅後、泣いて押し入れから出てこなかったことが、ついでこの前の出来事のようにです。そんな子が、優しい先輩と仲間、その保護者たちに出会い、引き上げてもらった結果、あれよあれよと成績を残すことができました。その反面、押しつぶされそうなプレッシャーとの闘いはつらかったでしょうね。弱音を吐くと崩れ



「U-18侍JAPAN」2017WBSC U-18の3位決定戦で先発(カナダ・サンダーベイにて)

そうだったのか、ひょうひょうとした表情を装って、「走ってくる」と言っていて暗闇へ出ていった時は、独りで苦しみと闘っていたのでしょう。高校3年でU-18日本代表のユニフォームを着てプレーさせていただけた時は、夢を見ているようでした。さらに、法政大学という名門校で野球を続けることができ、そこでの貴重な出会いと経験を、本人さながら私も一緒に楽しみ、夢の続きを見させてもらっています。決して満足とは言えぬ家庭環境にめぐらず、周りの方々に恵まれ、多くの支援をいただいていたと成長してくれたことに、ありがたうと伝えたいです。支えていただいた方々、応援してくれた方々へ感謝の念を忘れずに、これまでの出会い、経験を糧にさらに成長することを願っています。ドラフト会議で指名いただき、今後はプロ野球選手として厳しい世界で闘っていくことになるでしょうが、好きな野球を



「法政大学時代」2021春季リーグ開幕戦は「ノーヒットワンラン」という珍しい記録を達成

存分に楽しんでほしいです。人生の道には、紆余曲折があります。小さな楽しみを見つけて、過去でも未来でもなく、今を生き、大小の山を乗り越えていってください。そして、社会人として、人間として、胸を張って社会貢献できる人になってくれると嬉しいです。コロナ禍で、思うような学生生活を過ごせなかったことは心残りですが、法政大学で学んだ4年間、主将まで任せてもらい、大切な仲間と過ごした時間を誇りに、これからもわが道を進んでください。

※()内は子どもの名前/学部



HOSEIミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

法政大学の歴史と個性を 発信する新しい空間 ミュージアム・サテライト小金井／市ヶ谷


2021年10月、小金井キャンパス西館1階のホワイエにHOSEIミュージアム・サテライト小金井(STEAM)が完成しました。
サテライト小金井は、学部・学科を超えて、本学における理工系教育・研究の発展プロセスや個性について知ることのできる場で、企画展示ゾーン、実物展示・展示ケース・展示用台座、研究キーマン展示、85インチのモニター、柱グラフィックの5つのパートで構成されています。

QRコードを配置し、ユニークなエピソードを誘導します。ちなみに、QRコードの開発を手掛けたデンソーウエーブの原昌宏氏は、本学工学部(当時)の卒業生です。
研究キーワード展示は、理工系4学部(情報科学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部)専任教員の研究キーワードをマッピングしたハンズオン型の展示です。この場で観るだけでなく、人と議論しながらパネルを動かすこともでき、モニター展示と併せて最新の理工系研究に触れることができます。

また、小金井キャンパスと同時に、市ヶ谷キャンパスにも2つのミュージアム・サテライト(BT、外濠)を開設しました。
ポアンナード・タワー26階ホワイエのサテライトでは、本学の校舎・キャンパスの広がり(戦前・戦後)を大きな地図グラフィックで表現。真下を流れる外濠や新宿方面を一望できる空間で、1880(明治13)年の創立以来、本学が時代とともに神田から市ヶ谷、川崎、小金井、多摩へと広がっていく歴史を実感できる場です。



2021年度秋学期テーマ展示
「法政理工系のサステナビリティ研究」
ミュージアム・サテライト小金井の開設を記念し、法政理工系の歩み、理工系4学部の最新研究を紹介。
場所：市ヶ谷キャンパス九段北校舎1階
期間：2021年10月～2022年4月
詳細：HOSEIミュージアムウェブサイト



新型コロナウイルス感染症の影響等により、日程や内容は変更になる可能性があります。詳しくは上記ウェブサイトをご確認ください。

- 1 完成直後のサテライト小金井。愛称の「STEAM」は Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsの頭文字で、本学理工系学部の教育・研究総体を表している
 - 2 ポアンナード・タワー 26階のホワイエに設置された「サテライト市ヶ谷(BT)」
 - 3 外濠校舎6階「サテライト市ヶ谷(外濠)」に設置されたミュージアムのサイングラフィック
- *BT：ポアンナード・タワーの略称

校友会だより

一般社団法人法政大学校友会(以下、校友会)は、「法政ネットワーク」強化により校友憲章に謳っている「価値の創生・共創」を基本理念に、大学、後援会と手を携えて三位一体で諸事業を推進してまいります。

さまざまな活動でスポーツを応援する 「法政大学スポーツコミュニティ(HSC)」

法政大学スポーツコミュニティ(HSC)は、法政大学の体育会本部、後援会会員およびその出身者、卒業生、教職員で運営されるスポーツコミュニティです。
法政関係者にとってスポーツ応援は欠かすことのできないものですが、以前は、在学生、保護者組織の後援会、卒業生組織の校友会が、それぞれ別々にスポーツ応援を行うことが少なくありませんでした。

しかし、後援会の合言葉は「子どもの母校は我が母校」であり、校友会のスローガンは「全ての世代がつながる法政大学校友会」です。つまり在学生も保護者も卒業生も、全てが法政ファミリーです。この「オール法政」の力を集結し、学生スポーツを応援、支援していくため、2017年にHSCが誕生しました。ぜひ、「法政を応援する喜び」や「法政ファミリーの一員である喜び」を共に分かち合いましょ！

現在は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、応援活動そのものは一時休止しています。それでも、体育会各部の考えや思いをお伝えするべく、各部の紹介記事をメールマガジンで配信したり、東

京2020オリンピック・パラリンピックに出場した法政ファミリーの選手紹介などを行ったりしています。ぜひ、HSCが運営するウェブサイト「法政スポーツインフォメーション」をご覧ください。

「法政大学スポーツコミュニティ(HSC)」の主な事業

- ・スポーツ応援イベントの実施
 - ・ウェブサイトでの広報活動
 - ・メールマガジンの配信
 - ・スポーツ応援グッズの作成
- 「メールマガジンのお申し込み」
メールマガジンでは、応援情報はもちろん、各部の取材記事など法政大学のスポーツ情報を余すことなくお伝えしています。左のQRコード、もしくはウェブサイトを「法政スポーツインフォメーション」から「メールマガジン登録」にアクセスし、必要事項を入力してください。



メールマガジンの登録はこちらから



ウェブサイト「法政スポーツインフォメーション」
<https://hosei-sports.jp/>

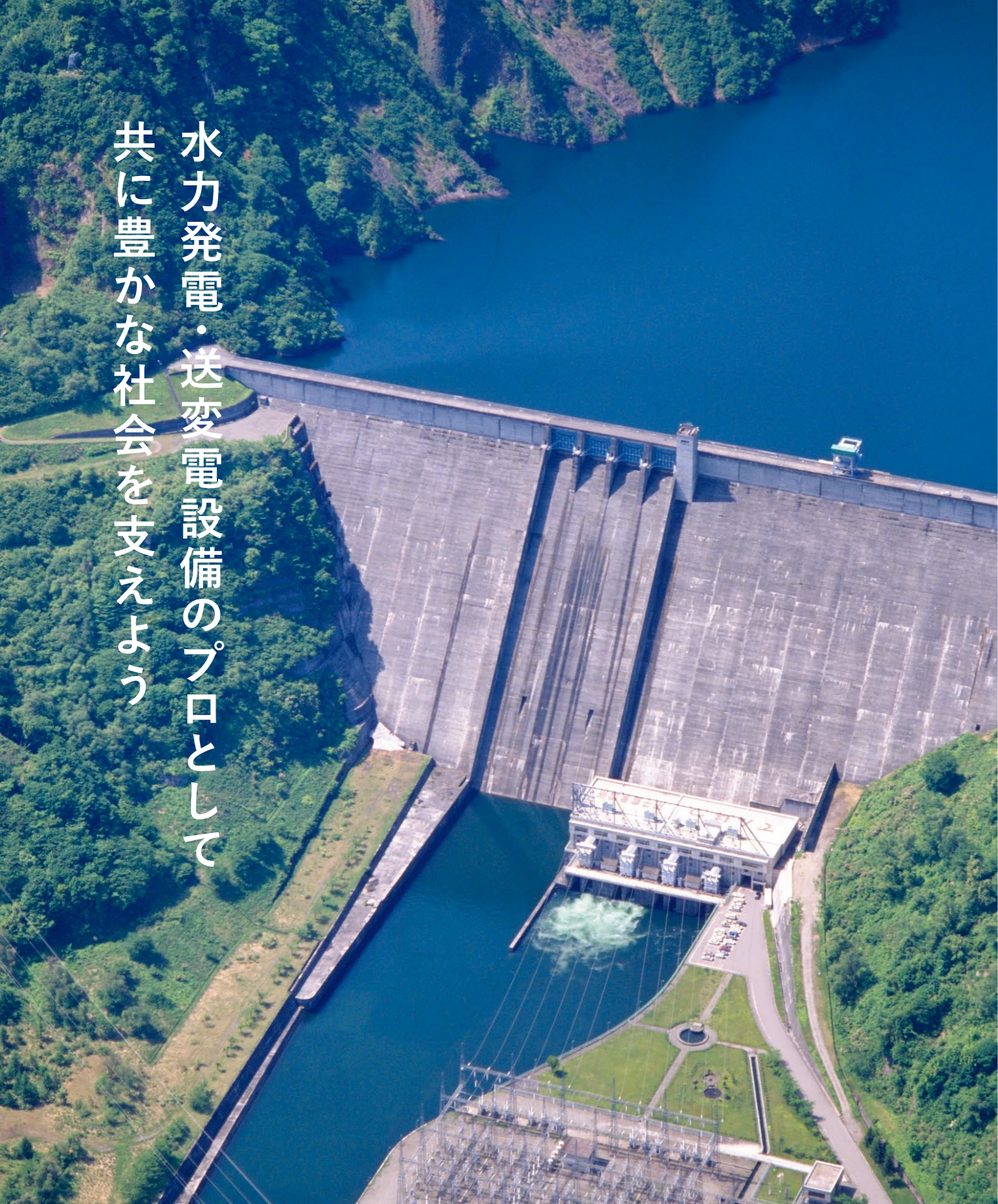
校友会の会員向け優待サービスをスタート
2022年1月から、校友会の会員向け優待サービスが始まります。飲食店、宿泊施設、映画館、カラオケ店、テーマパーク、日帰り入浴施設、ガソリンスタンド、レンタカー、スポーツジム、資格スクールといったさまざまなサービスを割引料金または特典付きで利用できます。優待を受けられる店舗や施設は全国各地に20万件以上！校友会会員本人の同伴者も優待対象となるので、ぜひ、家族や友人と一緒にご利用ください。詳細は、校友会ウェブサイトでお知らせいたします。



校友会ウェブサイト

一般社団法人 法政大学校友会事務局 Tel 03-3264-1831 Eメール info@hoseinet.or.jp ウェブサイト <https://hoseinet.or.jp/>

水力発電・送変電設備のプロとして
共に豊かな社会を支えよう



写真：J-POWER 田子倉発電所(福島県)

J-POWER 株式会社J-POWERハイテック

本店所在地：東京都千代田区九段北4丁目2番5号(共益市ヶ谷ビル) <http://www.jphytec.co.jp/index.html>

法政大学の皆さまへ 技術系・事務系の皆さま、ご応募お待ちしております！

電話：03-3237-2323 E-mail:saiyou@jphytec.co.jp ※OB・OG訪問も受付中です。

BX

文化シャッター



文化シャッターグループは、社会環境に主体的に対応し、

未来志向で事業の発展に取り組む、

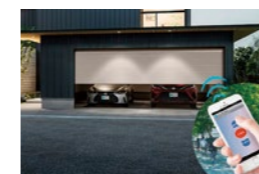
快適環境のソリューショングループをめざしています。

人、社会、技術、自然が共存する環境づくり、

広く社会の発展に寄与する製品・サービスの創出に取り組みます。

Products

■製品



スマホで操作できるシャッター
や水害を防ぐ止水製品など、幅
広いニーズに応えています。

Development

■技術開発



基礎技術の研究から製品の評
価・検証まで、生活者視点の技
術開発を行っています。

After Service

■アフターサービス



事故や故障を未然に防ぐため、
24時間365日の保守・点検
サービスを行っています。

Social Activities

■環境・社会



太陽光発電の利用やLED照明
設備など、生産工程の脱炭素・
省エネ化を推進しています。

文化シャッター株式会社

〒113-8535 東京都文京区西片1丁目17-3 TEL.03-5844-7200 ホームページ <https://www.bunka-s.co.jp>



私たちがつなぐもの

それは、だれかの安心、だれかの笑顔、だれかの願いだから、
あたりまえの日常を、ささえつづけるために
つなごう、想いを、明日を。

ひとりひとりが、未来を灯す。

KANDENKO

〒108-8533 東京都港区芝浦4丁目8番33号 <https://www.kandenko.co.jp/>

法政財界人倶楽部

会長 村田紀敏（昭和41年卒）

—— 母校法政大学を応援します！ ——

当倶楽部は、平成5年（1993年）10月に

1. 母校法政大学の発展に協力し奉仕することを主旨とする。
 2. 母校法政大学の出身者として広く校友会活動を通じて社会発展に寄与する。
- を主な綱領に法政大学出身者の経済人（上場企業の役員）を構成員に設立されました。

新しい会員の参加を募集中です！

加入資格：上場企業の「役員・執行役員」と「部長職・課長職等の管理職」
【法政財界人倶楽部事務局】までお申込みのご連絡をお願い致します。

—— 会員数（2021年10月現在） ——

上場企業の【役員・執行役員】256人 【部長職・課長職】152人

法政財界人倶楽部 役員

2021年10月現在

| 財界人役員 | 氏名 | 会社名 | 役職 |
|-----------|-------|--------------------|--------------------|
| 会長 | 村田紀敏 | (株)セブン&アイ・ホールディングス | 元代表取締役社長 |
| 副会長 | 山口学 | (株)関電工 | 元取締役会長 |
| 副会長 | 田邊光雄 | 信金中央金庫 | 相談役 |
| 副会長 | 竹中宣雄 | ミサワホーム(株) | 取締役会長 |
| 副会長 | 堰八義博 | (株)北海道銀行 | 特別顧問 |
| 副会長 | 瀧澤利一 | (株)バルカー | 代表取締役会長 |
| 副会長(事務局長) | 佐々木郁夫 | (株)日本共同システム | 代表取締役会長(元明治安田生命専務) |
| 常任理事 | 宮嶋宏幸 | (株)ビックカメラ | 元副会長 |
| 常任理事 | 浅野紀美夫 | プラス(株) | 代表取締役副社長 |
| 常任理事 | 池谷文雄 | 日本生命保険(相) | 顧問 |
| 常任理事 | 市村尚裕 | (株)きらぼし銀行 | 専務執行役員 |
| 常任理事 | 犬塚勇 | 山崎製パン(株) | 専務取締役 |
| 常任理事 | 岩下周三 | (株)フジタ | 専務執行役員 |
| 常任理事 | 潮崎敏彦 | 文化シャッター(株) | 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 鈴木和夫 | ライト工業(株) | 取締役会長 |
| 常任理事 | 武澤雅吉 | トピー工業(株) | 常務執行役員 |
| 常任理事 | 長裕章 | (株)ジェーシービー | 代表取締役兼専務執行役員 |
| 常任理事 | 皆見薫 | 公益社団法人日本観光振興協会 | 常務理事 |
| 常任理事 | 中島圭一 | シチズンマシナリー(株) | 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 長島康雄 | 東海運(株) | 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 三浦善功 | 日清食品(株) | 元代表取締役社長 |
| 常任理事 | 山下勝征 | (株)ハウスイ | 元取締役副社長執行役員 |
| 常任理事 | 山本雄一郎 | (株)タチエス | 代表取締役社長 |
| 常任理事 | 吉沢正明 | (株)オンワードホールディングス | 元取締役副会長 |
| 監事 | 木嶋伸一 | トピー実業(株) | 代表取締役社長 |

事務局

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-11-18 711ビル8階 株式会社日本共同システム内

担当 齋藤(サイトウ)
道山(ミチヤマ)
矢賀部(ヤカベ)

TEL 03-3369-0804

FAX 03-3369-1990

MAIL hosei.hzi@nks-inc.jp

1月2日3日は、
テレビで観戦！
ネットで応援！



沿道応援が制限される今回も、正月から法政を応援しよう。

箱根駅伝 法政応援チャンネル

2022年1月2日、3日 朝 7:30 スタート



1月2日
往路はこちら



<https://youtu.be/1xbfk38oRGM>



箱根駅伝応援特設ページ
<https://hosei-sports.jp/ekiden/>

1月3日
復路はこちら



https://youtu.be/hlkYLYUx_xA



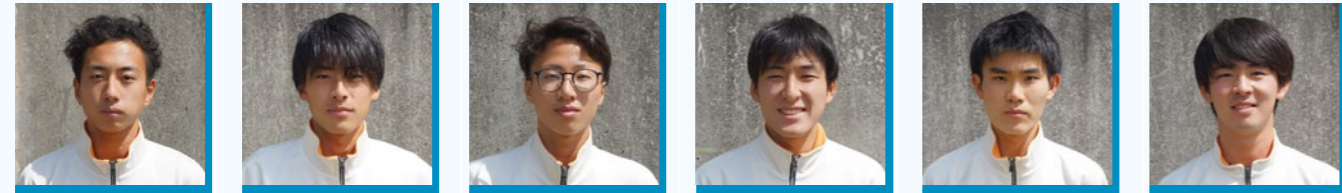
※上記映像は昨年のものです。

祝! 箱根駅伝本選出場決定! 陸上競技部駅伝チーム紹介

出場候補選手一覧 1 学部・学科・学年 2 出身高校 3 5000mベストタイム(2021年10月31日現在)



- | | | | | | |
|---|---|---|--|---|---|
| 鎌田 航生 かまた こうき 1 社会学部社会学科4年 2 法政大学第二高等学校(神奈川県) 3 13分47秒57 | 久野 祥哉 くのう しょうや 1 経済学部経済学科4年 2 小林高等学校(宮城県) 3 14分32秒00 | 久納 碧 くのう あおい 1 経済学部経済学科4年 2 石川高等学校(福島県) 3 14分13秒31 | 清家 陸 せいけい りく 1 社会学部 メディア社会学科4年 2 八幡浜高等学校(愛媛県) 3 14分31秒52 | 中光 捷 なかみつ さとし 1 スポーツ健康学部 スポーツ健康学科4年 2 専修大学松戸高等学校(千葉県) 3 14分23秒01 | 守角 隼 もりずみ はやと 1 経済学部経済学科4年 2 八千代松陰高等学校(千葉県) 3 14分25秒21 |
|---|---|---|--|---|---|



- | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| 内田 隼太 うちだ しゅんた 1 経済学部経済学科3年 2 法政大学第二高等学校(神奈川県) 3 14分15秒24 | 扇 育 おおい ぼくみ 1 経済学部経済学科3年 2 松浦高等学校(長崎県) 3 14分06秒43 | 川上 有生 かわかみ ゆうき 1 スポーツ健康学部 スポーツ健康学科3年 2 東北高等学校(宮城県) 3 14分25秒96 | 河田 太一平 かわだ たいへい 1 社会学部 社会政策科学科3年 2 垂山高等学校(静岡県) 3 14分26秒23 | 中園 慎太郎 なかぞの しんたろう 1 社会学部社会学科3年 2 八千代松陰高等学校(千葉県) 3 14分25秒22 | 松本 康汰 まつもと こうた 1 社会学部 メディア社会学科3年 2 愛知高等学校(愛知県) 3 13分46秒62 |
|--|--|---|---|---|---|



- | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|
| 山本 恭澄 やまもと たかずみ 1 経済学部経済学科3年 2 伊賀白鳳高等学校(三重県) 3 14分22秒81 | 稲毛 崇斗 いなげ たかと 1 社会学部 メディア社会学科2年 2 東北高等学校(宮城県) 3 14分31秒18 | 高須賀 大勢 たかすか たいせい 1 生命科学部 環境応用化学科2年 2 専修大学松戸高等学校(千葉県) 3 14分29秒28 | 細迫 海気 ほそさこ かいき 1 社会学部社会学科2年 2 世羅高等学校(広島県) 3 14分30秒63 | 松永 伶 まつなが れい 1 経済学部経済学科2年 2 専修大学松戸高等学校(千葉県) 3 14分21秒44 | 三原 伶王 みはら れお 1 経済学部 現代ビジネス学科2年 2 鳥栖工業高等学校(佐賀県) 3 14分33秒94 |
|--|--|--|---|---|--|



- | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---|
| 宗像 直輝 むなかた なおき 1 社会学部社会政策科学科2年 2 東京農業大学第二高等学校(群馬県) 3 14分10秒00 | 安澤 駿空 あんざわ しゅんすけ 1 社会学部社会学科1年 2 法政大学第二高等学校(神奈川県) 3 14分36秒04 | 小泉 樹 こいずみ いつき 1 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科1年 2 國學院大学久我山高等学校(東京都) 3 14分16秒32 | 小茂田 勤志 こもだ けいし 1 経済学部経済学科1年 2 松浦高等学校(長崎県) 3 14分15秒00 | 武田 和馬 たけだ かずま 1 社会学部社会学科1年 2 一関学院高等学校(岩手県) 3 14分31秒87 | 宮岡 幸大 みやおか こうだい 1 スポーツ健康学部 スポーツ健康学科1年 2 宇和島高等学校(愛媛県) 3 14分08秒62 |
|--|--|--|---|--|---|



坪田 智夫 監督
つばた ともお
陸上競技部駅伝チーム監督。1996年、法政大学社会学部社会政策科学科入学と同時に陸上競技部に所属し、エースとして活躍。4年次に出場した第76回箱根駅伝では最長区間(当時)の「花の2区」を快走し、区間賞を獲得。卒業後は実業団に所属していたが、2011年に本学駅伝チームのコーチに就任。2013年から現職。

第98回箱根駅伝の開催は、2022年1月2日(日)、3日(月)。テレビの前から、駅伝チームに声援を届けましょう!

5位入賞を目標とした、チーム全体の勢いに期待
「今年は夏合宿でも充実した練習ができ、自信を持って予選会に臨みました」と、箱根駅伝予選会を振り返った坪田監督。11月の秩父宮賜杯全日本大学駅伝対校選手権大会への出場も果たし、チーム全体に勢いが出ています。箱根駅伝本選の目標は5位入賞。前回1区区間賞を獲得したエース・鎌田航生選手を筆頭に、予選での走りが注目されたルーキーの小泉樹選手、爆発力のある走りが期待される3年生、調子上げてきた2年生と、厚みを増している選手の層に期待が高まります。今回は、坪田監督の現役時代に、共にオンライン旋風を巻き起こした後輩・徳本善監督が率いる駿河台大学も本選初出場を果たしています。「いい戦いをしたいですね。もちろん、負けるつもりはありません」(坪田) 本選への思いを問うと「大学関係者はもちろん、本当にたくさんの方が、コロナ禍の中で理解を示し、箱根駅伝の開催に向けて尽力してくれました。感謝しかありません」と語った坪田監督。「感謝の気持ちを届けるには、走りですすしかありません。最後まで諦めずに頑張る姿を見ていただきたいと思っています」。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、応援のための外出はお控えください。特に沿道での応援はご遠慮いただき、ご自宅での応援をお願い申し上げます。

体育会の活躍

2021年度の体育会の活躍を紹介します。

各部の選手は大会で好成績を残した他、東京2020オリンピックにも出場を果たしています。なお、陸上競技部駅伝チームは10月に開催された「第98回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会」を6位で突破し、2022年1月2日・3日の本戦出場を決めています。

試合結果 2021年4月1日~2021年10月31日

自転車競技部

[8月]
文部科学大臣杯第76回全日本大学対抗選手権自転車競技大会トラック種目にて太郎田水桜選手(文学部3年)が女子3kmインディヴィジュアルパーシュート、女子オムニアムの2種目で1位

サッカー部

[9月]
2021年度第45回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント優勝



(写真提供:サッカー部)

水泳部

[10月]
第97回日本学生選手権水泳競技大会にて宮本一平選手(人間環境学部4年)が男子200m個人メドレー、柏崎清花選手(経営学部4年)が女子400m個人メドレーでそれぞれ1位



(上)宮本選手(下)柏崎選手(写真提供:スポーツ法政新聞会)

野球部

[10月]
2021年プロ野球ドラフト会議にて、東京ヤクルトスワローズの1位で山下輝選手(経営学部4年)、横浜DeNAベイスターズの4位で三浦銀二選手(キャリアデザイン学部4年)、読売ジャイアンツの5位で岡田悠希選手(人間環境学部4年)が指名



左から、岡田選手、山下選手、三浦選手

準硬式野球部

[5月]
東京六大学準硬式野球春季リーグ戦5シーズン振りの完全優勝



(写真提供:スポーツ法政新聞会)

弓道部

[7月]
第69回全日本学生弓道選手権大会女子個人種目において宮本愛子選手(経営学部2年)が1位

バドミントン部

[10月]
秩父宮・秩父宮妃杯争奪第72回全日本学生バドミントン選手権大会にて嶺岸洗選手(社会学部4年)が男子シングルス3位、内田美羽選手(経営学部1年)が女子シングルス2位に入賞。また小川翔悟選手(経済学部3年)・佐野大輔選手(社会学部3年)ペアが男子ダブルスにて3位に入賞し、男子団体が準優勝

東京2020オリンピック

7月23日より開催された東京2020オリンピックにおいて現役学生としてはボクシング部・森脇唯人選手(法学部3年:当時)、陸上競技部・黒川和樹選手(現代福祉学部2年)が出場。卒業生ではフェンシングエペ競技団体戦にて金メダルを獲得した見延和靖選手(人間環境学部4年)が指名



森脇選手(写真提供:スポーツ法政新聞会) 第71回関東大学2部リーグ戦日体大戦(2018年6月)



黒川選手(写真提供:スポーツ法政新聞会) 第54回東京六大学対校陸上競技大会(2021年6月)



見延選手

陸上競技部

[6月]
第105回日本陸上競技選手権大会男子400mハードルで黒川和樹選手(現代福祉学部2年)が1位



建設労働と移民 日米における産業再編成と技能

オリンピックや相次ぐ再開発を控え、高齢化と人手不足が著しい建設現場では、ベトナム人などの外国人技能実習生たちがいち早く導入されてきた。安価な移民労働力を利用しようとする画一的な理解を超えて、日米の産業再編成の比較から技能継承を巡る課題に迫り、建設労働移民のグローバルな文脈を示す。

惠羅 さとみ 著
社会学部社会政策科学科 准教授
出版社：名古屋大学出版会
発行：2021年2月



心理カウンセラーが教える 「がんばり過ぎて疲れてしまう」 がラクになる本

周りに合わせて自分の気持ちを抑え、無理をしてがんばり過ぎてしまう「過剰適応」。本書は過剰適応について解説し、自分の状態に気づき、解決するための方法を提案している。職場の健康管理やメンタルヘルス支援に従事する専門家（公認心理師、臨床心理士、産業医）が、さまざまな角度から分かりやすく解説。

廣川 進 他1名 編著
キャリアデザイン学部
キャリアデザイン学科 教授

出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン
発行：2021年7月



白球の「物語」を巡る旅 コンテンツツーリズムから 見る野球の「聖地巡礼」

ベースボールはなぜ戦後も野球と呼ばれ続けたのか。そこには地域と野球の密接な結びつきがあった——。伝説の投手「沢村栄治」、今も都市対抗野球に名を残す「久慈次郎」、幻の企業チーム「別府星野組」など戦前戦後の野球にまつわる「聖地巡礼」を通して、野球と地域の関係性を考察した書。

増淵 敏之 著
大学院政策創造研究科 教授

出版社：大月書店
発行：2021年8月



スーパーエンジェル

全知全能の人工知能（AI）である「マザー」に支配され、生まれながらに階級で選別されて生きる人類。異端の少年「アキラ」と教育係の中古アンドロイド「ゴレム3」が世界を変えるSF冒険物語。この話を原作とする新しいオペラ「Super Angels スーパーエンジェル」が2021年8月に新国立劇場にて上演された。

島田 雅彦 著
国際文化学部国際文化学科 教授

出版社：講談社
発行：2021年7月

※日外アソシエーツ 図書内容情報BookPlusを参照

HOSEI 1・2月号

令和4年1月1日発行
第49巻第1号（通巻728号）

発行 法政大学 総長室 広報課
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
TEL.03-3264-9240

協力 法政大学後援会

企画・制作協力 (株)日経BPコンサルティング

印刷所 図書印刷(株)



法政大学生生活協同組合書籍部より

<多摩キャンパス>

年間を通して就職書と語学書のフェアを開催

多摩購買書籍部（通称：タマえもん店）は、法政大学生協の購買店舗の中で売り場面積が一番広く、多くのジャンルの書籍を扱っています。中でも就職書と語学書は、年間を通してフェアを行っています。フェア開催中は対象書籍が割引価格にて購入可能なので、より積極的に利用していただければと思います。

勉学や研究活動をサポートするため、新刊の専門書は積極的に入荷し、既刊の専門書も幅広いジャンルを取りそろえています。

注目のテーマを扱った新書や学術系の文庫に加え、コミックや雑誌も取り扱い、関心事を総合的にカバーできる店舗になっています。店舗にない書籍は取り寄せることも可能です。ぜひ、この広い「タマえもん店」を存分にご利用ください。

(多摩購買書籍部)



入試期間中の 卒業生証明書発行について

入試期間中は入構制限があるため、期間中に各種証明書が必要な卒業生の方は郵送で申請していただくか、「卒業生証明書オンライン申込システム」をご利用ください。



※オンライン申し込みの対象は、通学課程の卒業生、通信教育課程の在学学生・卒業生のみです。別途所定のシステム利用料が発生します。
※オンライン申し込みにより発行できない証明書があります。その場合は郵送で申請してください。詳しくは大学ウェブサイトの「卒業生の方へ」から「証明書の種類と料金」を参照してください。

図書館の春季休館について

各キャンパスの図書館は、蔵書点検などのため2022年3月7日(月)～11日(金)まで休館となります。また、1月19日(水)～3月31日(木)に春季長期貸し出しを行います。返却は4月15日(金)まで(卒業・修了予定者は3月24日(木)まで)です。詳しくは図書館のウェブサイトでご確認ください。



「KANDAI×HOSEI SDGs WEEKs 2021」を開催しました

法政大学と関西大学は、SDGs連携の一環として、「KANDAI×HOSEI SDGs WEEKs 2021-実践知を磨き、考動する2週間-」を共催しました。企業／自治体セミナー、オンライン交流会などの多様なプログラムを実施。詳細は後日、本学SDGsサイトに掲載予定です。

〈卒業後50年を迎える皆さまへ〉 2022年入学式 ご招待の中止について

法政大学では、卒業後50年を迎えるご卒業生を入学式にご招待させていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2022年入学式のご招待については中止することといたしました。ご参加を楽しみにされていた皆さまには大変申し訳ありませんが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、入学式の様子は当日インターネット中継されますので、ぜひご覧いただき新入生の前途を祝福していただければ幸いです（詳細は3月頃改めてご案内いたします）。

【お問い合わせ先】法政大学卒業生・後援会連携室
TEL：03-3264-9230

日本学生支援機構奨学金 継続手続きに関するお知らせ

1. 継続手続きについて
奨学金の貸与および給付を受けている方(2022年3月満期者を除く)は継続手続きが必須です。日本学生支援機構スカラネット・パーソナルから継続願をウェブ入力してください。詳細はHoppiiのウェブ掲示板「その他のお知らせ」に掲載している書類をご確認ください。法政大学のウェブサイトにも概要を掲載しています。

入力期限:2022年1月16日(日)

2022年4月以降の奨学金継続を希望しない場合も、「希望しない」との回答をウェブ入力・送信する必要があります。

2. 2022年4月以降の振り込み開始日
継続許可者の2022年度初回の奨学金振込日は2022年4月21日(木)の予定です。継続許可の通知などはありません。通帳記帳などにより入金を確認してください。

3. お問い合わせ先(電話番号)
【市ヶ谷キャンパス】厚生課 03-3264-9486
【多摩キャンパス】多摩学生生活課 042-783-2151
【小金井キャンパス】小金井学生生活課 042-387-6011

2021年度卒業・進級発表について

2021年度の卒業・進級発表は、2022年2月末以降に情報システムを通じて行います。発表日や詳細については、各学部のウェブサイトでご確認ください。

第140回学位授与式のお知らせ



(写真は2021年撮影)

第140回学位授与式(卒業式)を、2022年3月24日(木)の午前の部と午後の部の2回に分けて、日本武道館にて行う予定です。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、式典には卒業生以外の方はご入場いただけません。入場できないご家族のために、式典の模様をパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけるようインターネット中継します。詳細は大学ウェブサイトでご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況によって式典を中止とする場合があります。





付属校短信



法政大学中学高等学校

6年ぶりに三者協議会を実施

11月6日（土）に三者協議会が開催されました。三者協議会は、生徒、保護者、教職員が対等に話し合い、それぞれの立場からの意見を聞き、問題を多面的に捉え、必ずしも結論を出すことなく話し合いのプロセスを重視する民主的な学校運営のための組織です。

2021年度は生徒会から三者協議会の実施が課題として提起され、これまで三者の参加による学習会や事務局会議を

実施してきました。

今回は、「校内におけるスマートフォンの利用について」という議題で開催され、生徒会からルール改定に向けての問題提起がありました。参加した生徒からは「三者で対等な立場で話すことにより、自分たちも学校づくりに参加しているということが実感できた」、保護者からは「このテーマについて生徒会がさまざまな視点から深く考えていることが分かっ



て、良い機会となった」といった感想が寄せられました。引き続き、本校にあった三者協議会の在り方を模索し実践することで、さらに生徒が主人公となる学校を目指します。



法政大学第二中・高等学校

コロナ禍での学校生活～2学期の学校活動～

9月1日（水）から2学期がスタートしましたが、夏休み中に延長された4回目の緊急事態宣言の中で、当初はオンライン授業にせざるを得ない状況でした。

9月29日（水）からは、40分授業という制限があるものようやく対面授業が始まり、多くの生徒が登校するようになりました。しかし9月に予定されていた中3研修旅行、中2林間学校、10月の二高祭（高校文化祭）の実施は11月以降に

延期となりました。

10月25日（月）からようやく50分授業となり、学校活動も正常化に向けて一歩前進しました。

いくつかの行事が延期になる中で、中学文化祭は予定通り10月30日（土）、31日（日）の2日間で実施しました。一般公開はしませんでした。保護者にはオンラインで見てもらいました。短い準備期間の中で、各クラスの生徒は一生懸命



練習し、木月ホールでダンスや劇などのパフォーマンスを披露しました。この文化祭の成功を足掛かりとして、今年度後半の学校活動をより有意義なものにしてほしいと考えています。



法政大学国際高等学校

ハイフレックス、オンライン、登校へ

新型コロナウイルス感染症が爆発的に広がっていた9月に新学期が始まりました。国際高では登校する生徒を半分以上とし、自宅にいる生徒も同時に授業に参加するハイフレックス授業を実施しました。自宅の生徒の顔が教室のスクリーンに映り、声が聞こえ、発表は画面を共有して対応し、同時双方向型授業を展開しました。教室にいる少数の生徒と、スクリーンに映るたくさんの生徒、コロナ前

には想像もつかない状態ですが、確かに一緒に学習している実感が持っていたと思います。

9月19日（日）、20日（月・祝）にはオンラインにてオレンジ祭を開催しました。短い準備期間に苦労しながらも、部活動や有志団体が撮影した動画を組み合わせ、YouTube上で限定配信をしました。文化部の作品や授業の研究発表などを閲覧できる仕組みも構築し、当日は15人ほ



どの実行委員が、学校からライブ配信しました。10月からは全員登校しての活動が可能になりました。生徒の皆さんの協力を得て、形態を変化させながら、学校活動を充実させている日々です。